「弾く、聴く、読む」クラシックギター愛好家のために
ギタードリーム

Guitardream

NO. 15
FEB-MAR 2009

掲載楽譜収録!! CD付
ラグーナの特別演奏 4曲収録!

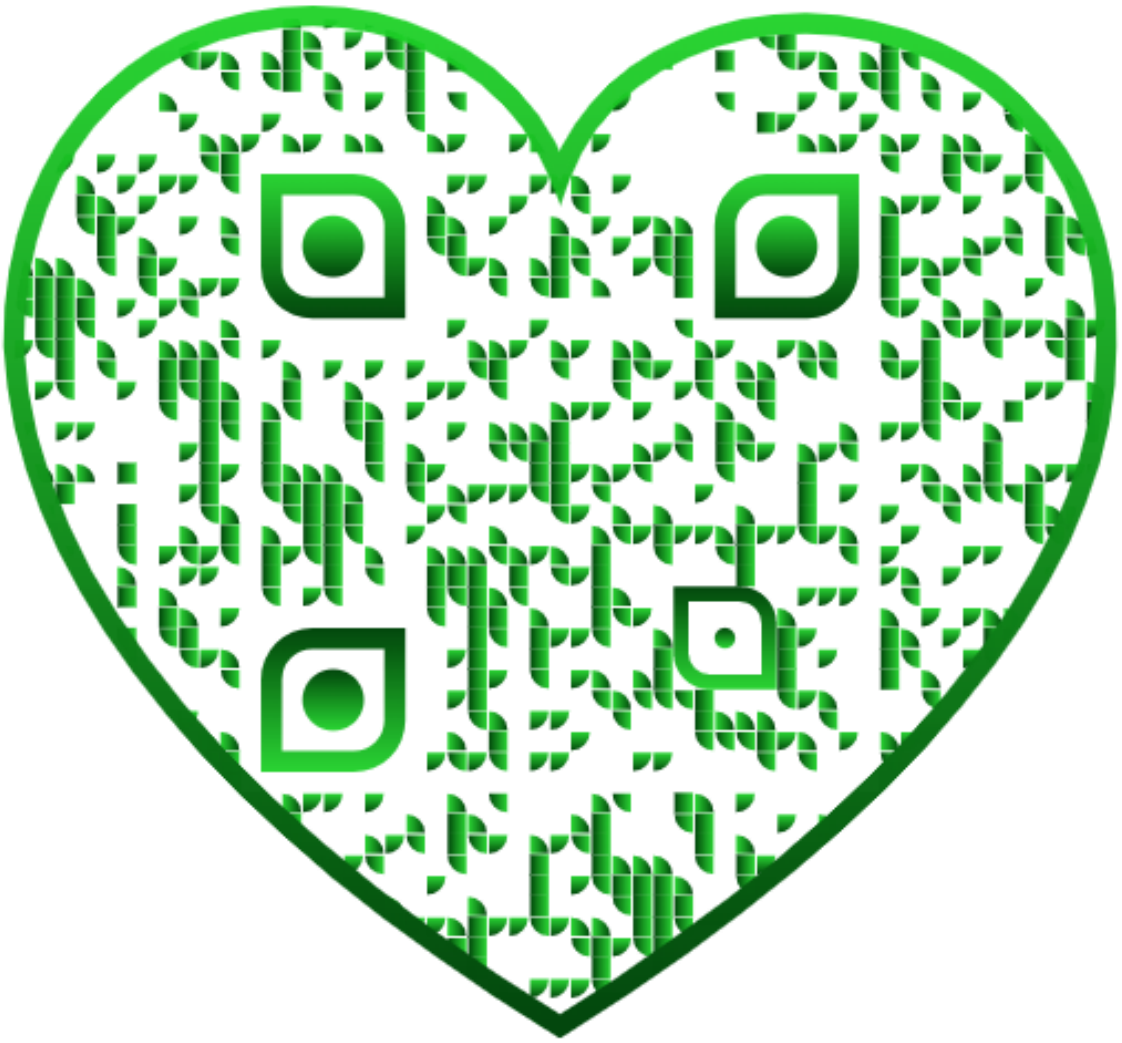
今月の楽譜
- アダモ／雪が降る
- カプア／オー・ソレ・ミオ
- タレガ／夢（マズルカ）
- 二橋潤一／哀歌～N氏の死を悼んで
- ポンセ／ルンバ
- 中林淳真／ソナチネ「アマデウスの心」
- 佐藤弘和／ハ長調の3つの小品
- メルツ／タベの祈り
- イッポリトフ=イワノフ／酋長の行列
- 久保田早紀／異邦人

話題のアーティスト
初CD発売、ツアーをひかえた
松田 弦

クラブ・マリアデュオ 今日も元気、ギターが楽しい
高木 孝

ファンC.ラグーナ
Juan Carlos Laguna

HOMA dream



TOTAL: 50'49

Tombe La Neige **Salvatore Adamo - Noriyasu Takeuchi**	**1**	03'26	雪が降る **アダモ〈竹内永和・編曲〉**
'O sole mio **Eduardo di Capua - Noriyasu Takeuchi**	**2**	03'18	オー・ソレ・ミオ **カプア〈竹内永和・編曲〉**
Etude no.3 **Hirokazu Sato**	**3**	01'44	練習曲第３番 **佐藤弘和**
Drunten im Unterland da ist's halt fein **J.K. Mertz**	**4**	00'58	望郷の歌 **メルツ**
Wenn ich ein Völein wär **J.K. Mertz**	**5**	00'49	夜汽車 **メルツ**
Abchied **J.K. Mertz**	**6**	00'55	わかれ **メルツ**
Schätzchen ade! Scheiden thut weh! **J.K. Mertz**	**7**	00'58	さようなら **メルツ**
Three pieces in C Major **Hirokazu Sato**			ハ長調の３つの小品 **佐藤弘和**
1. Gavotte	**8**	01'25	1. ガヴォット
2. Forest Path	**9**	01'02	2. 森の小径
3. Choro	**10**	01'13	3. ショーロ
Sueño (Mazurka) **F. Tarrega**	**11**	01'57	夢（マズルカ） **タレガ**
Lamento pour la mort de Monsieur N. **Jun-ichi Nihashi**	**12**	01'45	哀歌～Ｎ氏の死を悼んで **二橋潤一**
No.18 from 24 Leçons of Method op.27 **F. Carulli**	**13**	02'42	24のデュエットより第18番（ギター教則本 op.27より） **カルッリ**
Vespergang **J.K. Mertz**	**14**	04'06	夕べの祈り **メルツ**
Procession of the Sandar **Mikhail Ippolitov-Ivanov - Ippo Tsuboi**	**15**	04'33	酋長の行列 **ミハイル・イッポリトフ=イワノフ〈壺井一歩・編曲〉**
L'Étranger **Saki Kubota - Nobuyuki Hirakura**	**16**	03'54	異邦人 **呉田軽穂〈平倉信行・編曲〉**
Sonata K.113 **D. Scarlatti - Jeremy Sparks**	**17**	03'55	ソナタ K.113 **スカルラッティ〈ジェレミー・スパークス・編曲〉**
Sonatina "El corazón de Amadeus" **Atsumasa Nakabayashi**	**18**	04'17	ソナチネ「アマデウスの心」 **中林淳真**
Rumba **Manuel M. Ponce**	**19**	01'43	ルンバ **マヌエル・ポンセ**
Valse **Manuel M. Ponce**	**20**	02'14	ワルツ **マヌエル・ポンセ**
Scherzino Mexicano **Manuel M. Ponce**	**21**	03'12	スケルツィーノ・メヒカーノ **マヌエル・ポンセ**

Player (Guitar) :

Noriyasu Takeuchi (Ikko Kawada 1995) **1-2**
Hirokazu Sato (M. Nobe 2000) **3-10, 13**
Hirokazu Sato (M. Nobe Terz 1998) **14**
Koichi Kezuka (I. Fleta 1964) **11-15**
Nobuyuki Hirakura (M. Lopez 2004) **16**
Ensemble Spica **17**
Juan Carlos Laguna (M. Kohno 1977) **18-21**

演奏者（使用ギター）：

竹内永和（川田一高 1995）**1-2**
佐藤弘和（野辺正二 2000）**3-10, 13**
佐藤弘和（野辺正ニテルツ 1998）**14**
毛塚功一（I. フレタ 1964）**11-15**
平倉信行（M. ロペス 2004）**16**
アンサンブル・スピカ **17**
ファン・カルロス・ラグーナ（河野賢 1977）**18-21**

広告インデックス

IGP …… p.25
ギターショップ・アウラ…… 口絵 3
今井勇一…… p.18
Ut Orpheus Edizioni …… p.59
Editions Orphee …… p.18
La Guitarreria …… p.32
キング・インターナショナル…… 表 4
黒澤楽器店…… 口絵 1
黒澤澄夫・哲郎…… p.41
ジーアンドエム …… p.59
庄司清英…… p.41
増子久貴…… p.18
ショップ松下＆ギター教室 p.41
松田弦…… 表 3
Musikverlag Doblinger…… p.41
宮下祥子…… p.41
ミューズ音楽館 …… p.41
ムジークゾリステン …… p.59
メディアカーム …… p.18
Mel Bay …… 表 2
ギター文化館 …… p.18
山下暁彦…… p.59
吉住和宏…… p.18
りとるかりん …… p.58

次号の発売日は
2009年4月6日〈月〉
です。

ギタードリームは全国有名楽器店、ギター専門店でお買い求めできます。
書店では取り扱っていません。入手が難しい場合は弊社から直接購入することができます。
右記弊社住所、Fax により申し込むか、弊社ホームページから申し込んでください。

Guitardream

ギタードリーム No.15 2009年2/3月号
2009年2月5日（第4巻第1号）定価1,470円（税込み）
ISBN978-4-86247-715-6 JAN4560184087151

編集・発行人： 菅原 潤
発行所： 株式会社ホマドリーム
〒171-0021東京都豊島区西池袋5-21-6-101
TEL: (03)6303-6151 FAX: (03)5951-3555
E-mail: info@homadream.com
URL: www.homadream.com
印刷・製本： 株式会社 平河工業社
表紙・紙面デザイン： サトウデザイン室
写真： tama
楽譜浄書： 神野浄書技研、菅原 潤
音源録音・編集： 毛塚功一

(C) 無断転載、複製を禁ず JASRAC 0900920-9 01
(C) 2009 by HOMA dream Inc. Tokyo. All Rights Reserved. Printed in Japan.

Cool Arrangements by Noriyasu Takeuchi

15 竹内永和のクール・アレンジメンツ

東京都生まれ。早稲田大学文学部卒業。1980年、第7回ギターコンクール第1位。1982年、第25回東京国際ギターコンクール第3位。レオ・ブローウェル、オスカー・ギリアのマスタークラスに参加し研鑽を積みコンサート活動を開始。アレンジャーとしても、現代ギター誌に連載を始め、スウェーデンのギタリスト、セルシェルの2枚のビートルズ・アルバムにアレンジを提供（ドイツ・グラモフォンよりワールド・リリース）。下森佳津美とのデュオ・シルフィードでの活動の他、ヴァイオリン、フルート、コントラバス等との共演多数。これまでにギターを故石月一匡、竹藤嘉の各氏に師事。

雪が降る

アダモの1963年のヒット曲。

アダモ自ら作詞、作曲したナンバーで、語学の天才だったアダモは、この曲を世界中のさまざまな言語で録音。もちろん日本語でもレコーディングしており、1971年、その独特のハスキーヴォイスの魅力もあって、大ヒットを記録した。

サルバトーレ・アダモは、1943年、イタリアのシチリア（コーミゾ）に生まれたが、3歳の時に鉱山労働者だった父親が仕事を求めてベルギー（フランス国境に近い炭坑町ジュマップ）に一家で移住したのにともない、幼年期、青年期はベルギーで過ごした（今でもベルギーの国民的歌手として絶大な人気を誇る）。

アダモは、早くも10代前半から音楽の才能を開花させ、13歳でコンクールに優勝。14歳からは作詞、作曲を始めたという。

1960年代からはフランスに住み（日本でアダモはフランス人という認識が一般的なのは、このあたりから？）、オリジナルの名曲を多数発表していく。

アダモにとって、シャンソン界の名士シャルル・アズナブールが後見人になってくれたのも、非常に大きい出来事だったろう（アダモが17歳で発表したオリジナルでコンテストに優勝した際、その才能を絶賛したアズナブールは、後見人として名乗りを上げた）。

アダモは、1963年には《サントワマミー》《雪が降る》で一躍有名になり、その後も優れた作品を次々と発表。オランピア劇場での公演も成功させ、大スターにのし上がる。

初来日は1967年。以後たびたび日本を訪れ、親日家として日仏の文化交流に大いに貢献している。

アダモはベルギー、フランスから勲章を受け、アーティストとして頂点を極めた中、脳内出血で倒れるも(2004年)、その後復活を果たし、2006年には久しぶりの日本公演を成功させた。

オー・ソレ・ミオ

イタリアのナポリ歌謡を代表する名曲。

ナポリ民謡と思われがちだが、ディ・カプア作曲によるナポリ歌曲（カンツォーネ・ナポレターナ）。作曲者のエドゥアルド・ディ・カプアは1864年生まれ。カンツォーネ歌手として、劇場やレストランで歌いながら自作曲も発表し、代表作オー・ソレ・ミオ(1898年)は、ナポリで毎年開催されるピエディ・グロッタ歌謡祭で第2位に輝いた。

この曲の作詞はカプロ（カプッロ）で、Che bella cosa ～と歌われる原詩のまま日本でも親しまれているが、伊庭孝訳詞による「昼の日の　かがやくような～」や、徳永政太訳詞の「うるわしの　日はさしぬ～」などの日本語詩も馴染みが深い。

日本のレビュー華やかなりし頃、浅草オペラでも人気曲となり、田谷力三、関谷敏子、藤原義江らの録音も残っている。

一方、海外ではオペラ歌手による録音も盛んで、イタリアの誇るテナー、ルチアーノ・パヴァロッティは、ナポリ歌曲を集めたアルバムに収めているほか、3大テナーのライブ盤などでも、ドミンゴ、カレーラスらと遊び心いっぱいの掛け合いを繰り広げている。

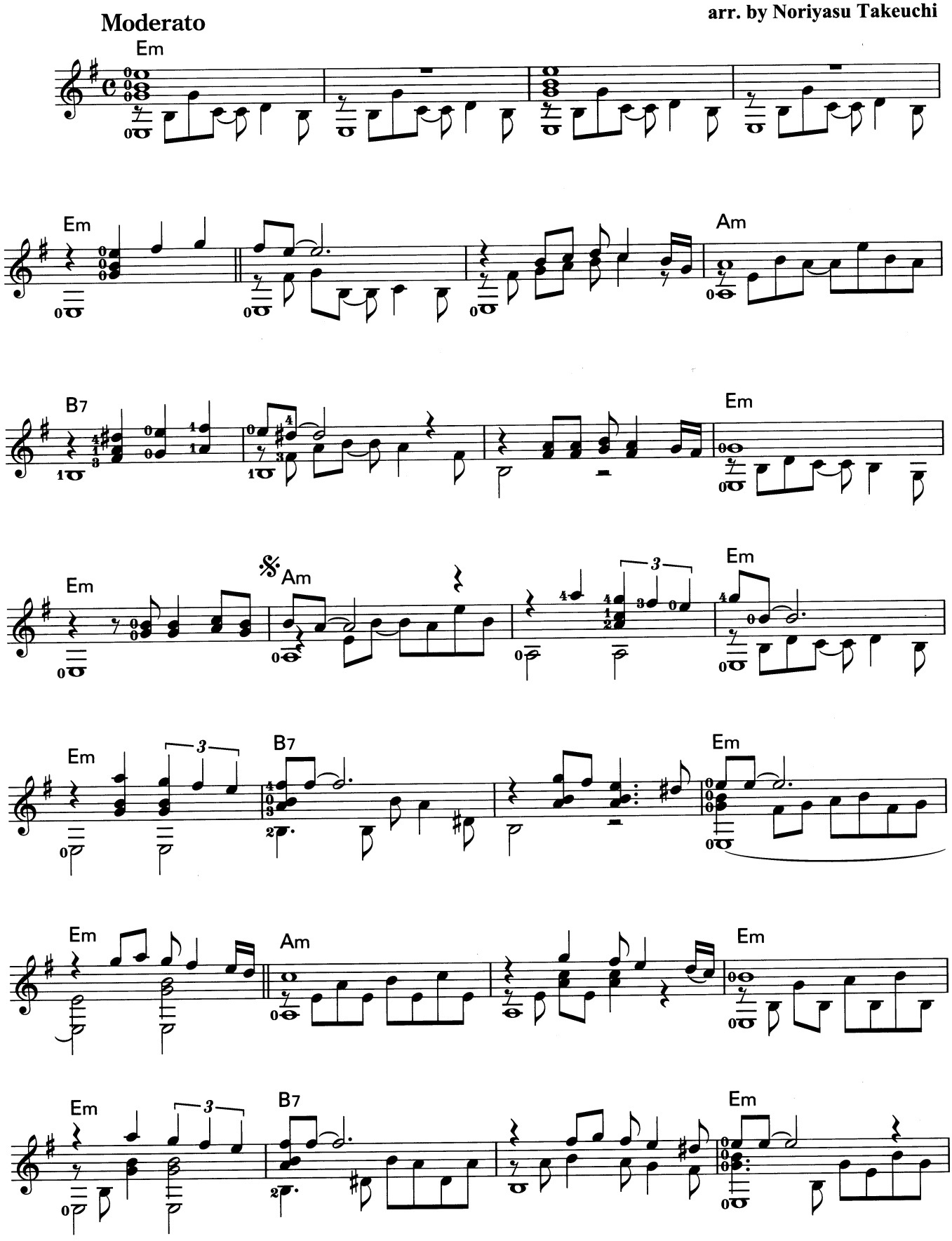
今回のギターソロ・アレンジは原曲のテイストに沿ったハバネラのリズムによるもの。原曲は2/4拍子で書かれているが、ゆったり感を伝えやすい4/4拍子に書き直してみた。

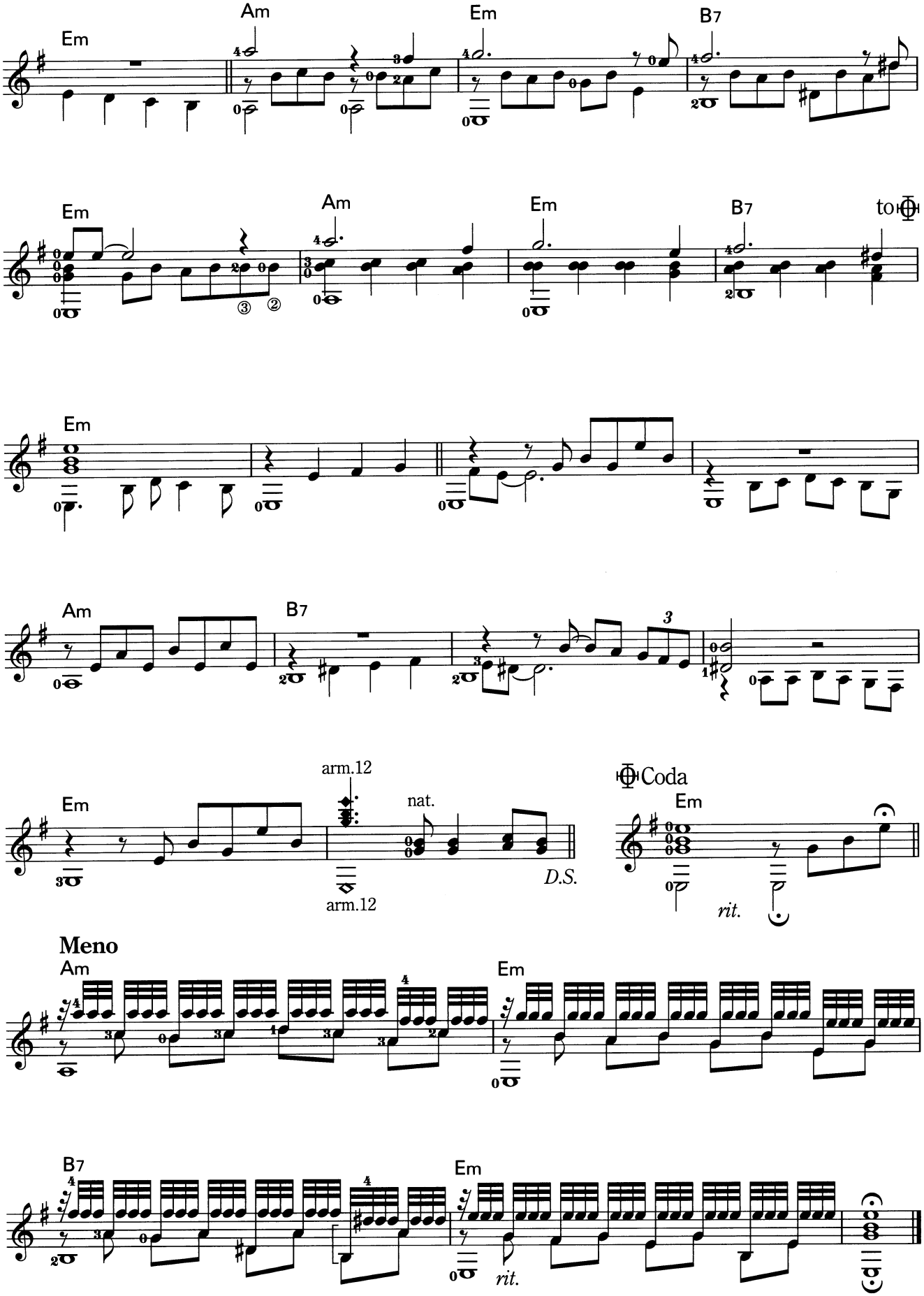
前半は、6度や3度の響きを美しく、後半はカンタービレで伸び伸びと歌って楽しく演奏していただきたい。

01 付録CD トラックNo.

Tombe La Neige

雪が降る

Salvatore Adamo
arr. by Noriyasu Takeuchi

© 1963 EDITIONS RUDO
Permission granted by EMI Music Publishing Japan Ltd.
Authorized for sale only in Japan.

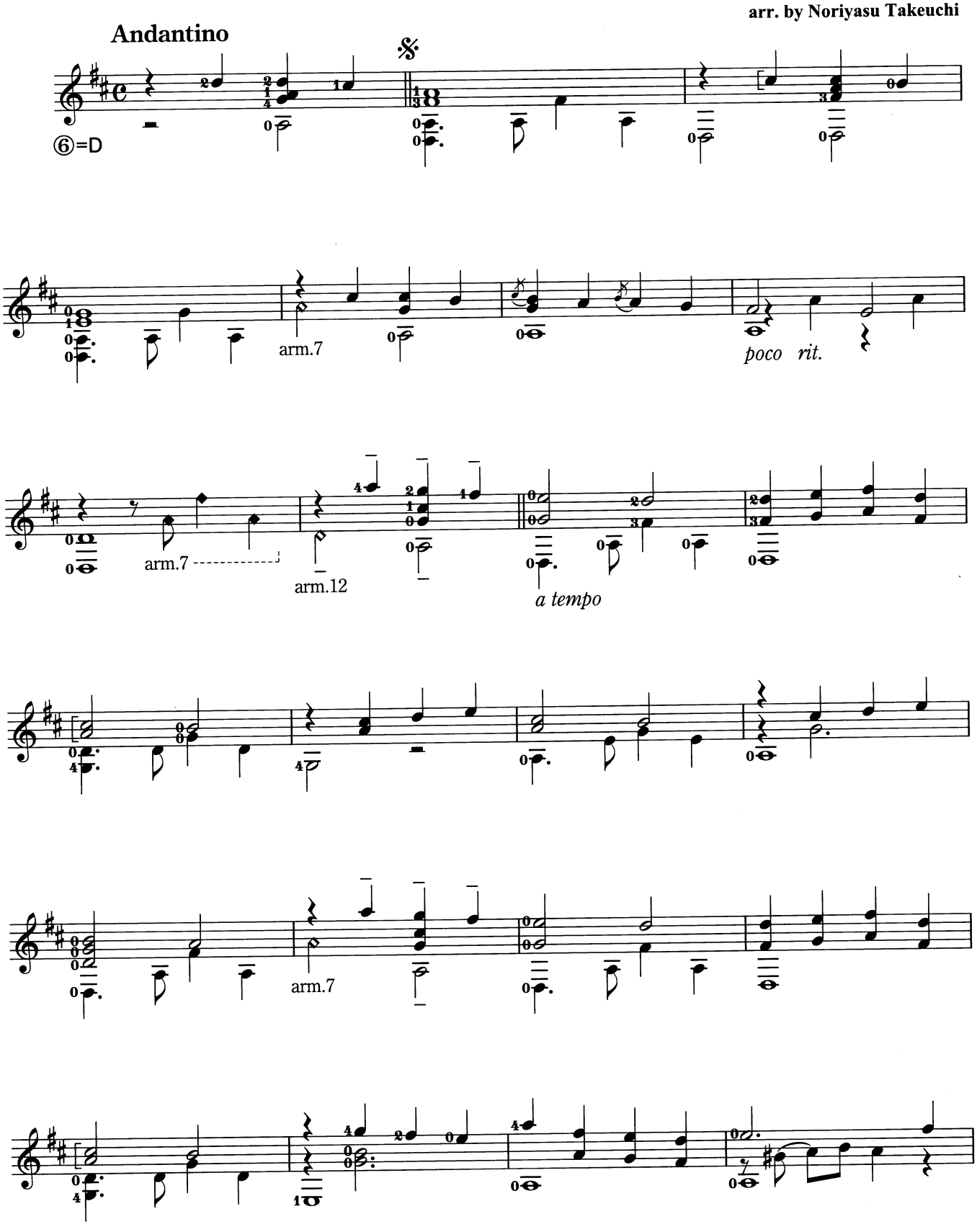
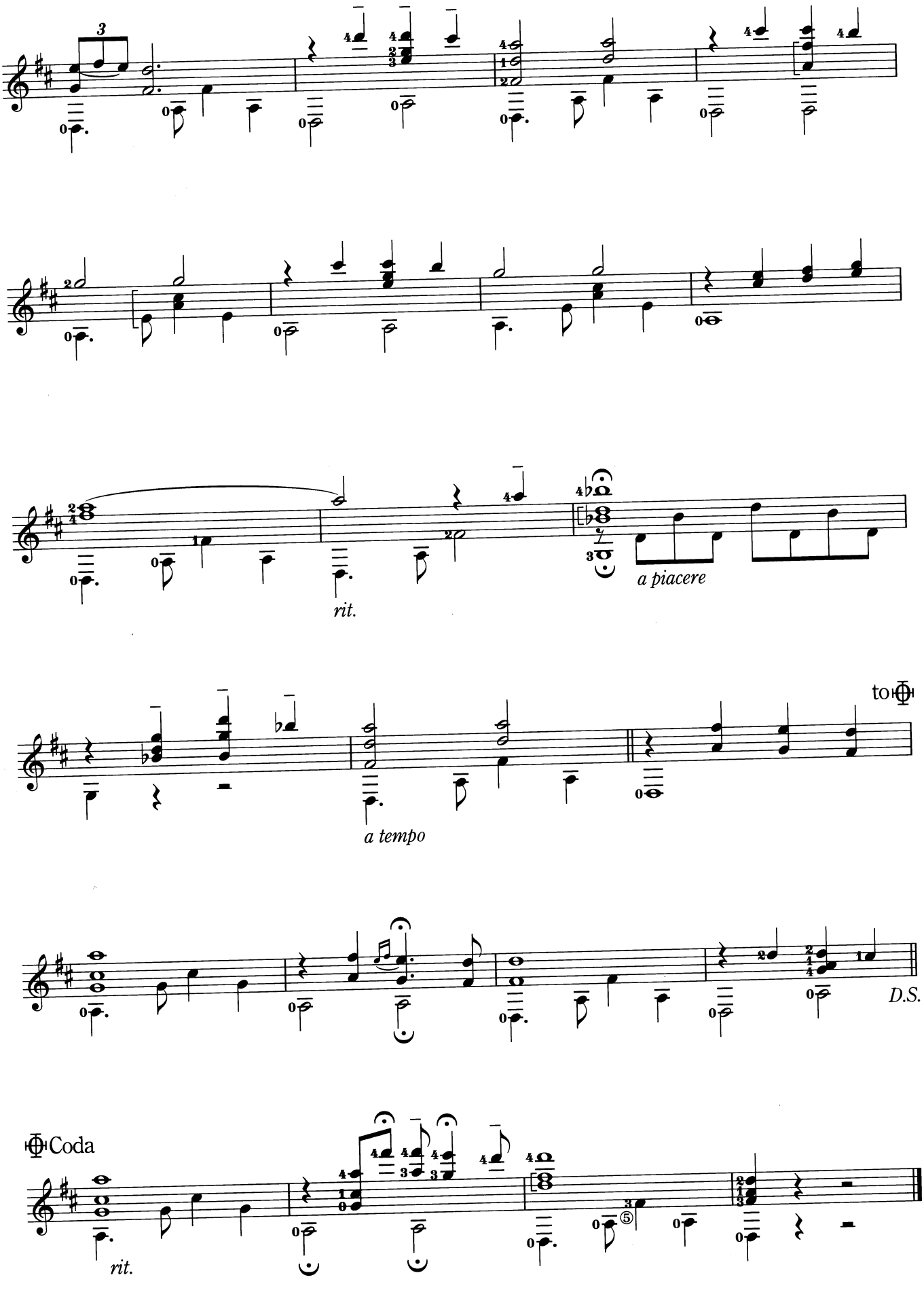

Em
Am
Em
B7
Em
Am
Em
B7
to
Em
Am
B7
Em
arm.12
nat.
arm.12
D.S.
Coda
Em
rit.
Meno
Am
Em
B7
Em
rit.

02 付録CD トラックNo.

'O sole mio

オー・ソレ・ミオ

Eduardo di Capua

arr. by Noriyasu Takeuchi

rit.
a piacere
a tempo
to
D.S.
Coda
rit.

新マエストロ養成講座

Text by IKUO HASEGAWA
長谷川郁夫

日大芸術学部ギター科卒業。ギターを故・芳志戸幹雄、建孝三、吉田佳正他の諸氏に師事。1982年全日本ギターコンクール重奏部門第1位。1988年G.L.C.学生ギターコンクール大学生の部第2位などを受賞。独奏のほか、ギター2重奏及び歌や他楽器とのアンサンブル、また19世紀～20世紀初頭にかけての当時の楽器を使った演奏なども行なう。武蔵村山・立川・昭島市（東京）にて「はせがわ音楽教室」を主宰。サークル指導、合奏における指揮なども行なう。

第2回　メルツ《かっこう》より

今回は、日本語の歌詞も付けられ親しまれている民謡4曲です。カッコ内に日本で知られているタイトルが入っています。シュヴェービッシュ民謡とドイッチェ民謡という表記がありますが、当時は分けて表記するような感じだったのでしょうか？　現在はどちらもドイツ民謡ということでいいでしょう。前号に引き続きメルツのアレンジした小品集「かっこう」からの選曲です。

やさしい曲を上手に弾こう

どの曲も1コーラスか2コーラス程度の小さなアレンジで、晴れの舞台で演奏するような雰囲気はあまりありません。ではこういった曲は「取るに足らない、弾く意味もない」曲なのかといえば、私はそうは思いません。もちろんレッスンピースとしての利用価値もあると思いますが、曲集の目的から考えれば弾いて楽しむことが主眼でしょう。仕事を終えて帰宅し、ほっと一息つく時間。あるいは穏やかな休日のひと時、テーブルに温かい飲み物でも置いてあなたはギターを取り出す…。そんなシーンでコンサートピースの難しいフレーズをキリキリと、しかもあまり上手ではなく弾くことと、今回の曲のように美しいメロディをやさしくシンプルにアレンジした作品を心ゆくまで上手に弾くこと、どちらが自分を慰め周囲を和やかにするでしょうか。こういう作品の価値はこんなところにあるように思います。自分のためにおいしい珈琲を淹れるような気分、人に聴かせると言っても本当に身近な家族や友人、恋人と自分の間にロウソクを灯すような感覚で弾くのがよいでしょう。心をこめて丁寧に音楽的な空間を作ること。素朴で難しさのないこれらの曲ならきっと上手にできるはずです。

メロディを浮き立たせる

まずこういう曲のアプローチではメロディをはっきり浮き立たせることが重要です。それは音量のことばかりではなく、横のつながりがギクシャク、デコボコしないということでもあります。和音と一緒に弾くメロディが弱くなったりしていませんか？　メロディが同じ音量、同じ音質のグループとして弾けているでしょうか？　メロディは横のラインで感じます。前に出した音をよく聴き、それにふさわしい次の音をイメージすることを心がけましょう。また、和音の中の音量バランスは、強く出したい弦を少しだけ押しながら弾弦することでコントロールしてみましょう。

音形にニュアンスを与える

メロディの動きを音程の移動だけでしか捉えないプレイヤーは、セリフを棒読みしかできない役者のようなものです。そこにニュアンスを与えて初めてメロディが活き活きとし、聴く人（自分も含む）にイメージや気分を伝えます。ではどうしましょう。今回の曲ではほんの少しですがクレッシェンドとディミヌエンドの指示があります。それらの共通点を見つけることができますか？　そう、メロディラインに対して上行の場合はクレッシェンド、下行の場合はディミヌエンドが書かれています。これはメロディを歌らしく演奏するための基本中の基本ですから覚えておきましょう。もし楽譜には何も指示されていない場合でも、最初に…いや、なかば自動的にやるべきことと心得てください。

謎の記号？（おまけ）

曲中、ベース音の脇にV字の記号が入っています。これはアクセントやブレスではなく左手親指での押弦を意味しています。現代のクラシックギターではあまりやらないテクニックですがフォークギターなどでは今でも残っていて、FやDのコードを押さえるような時によく見かけます。試してみたい方はぜひどうぞ。ただ、そういうテクニックを想定していない（ネックの太い）クラシックギターで、しかも足台などを使ってヘッドを高く上げた姿勢では、手の大きさにもよりますが結構やりにくいですね。

04 付録CD トラックNo.

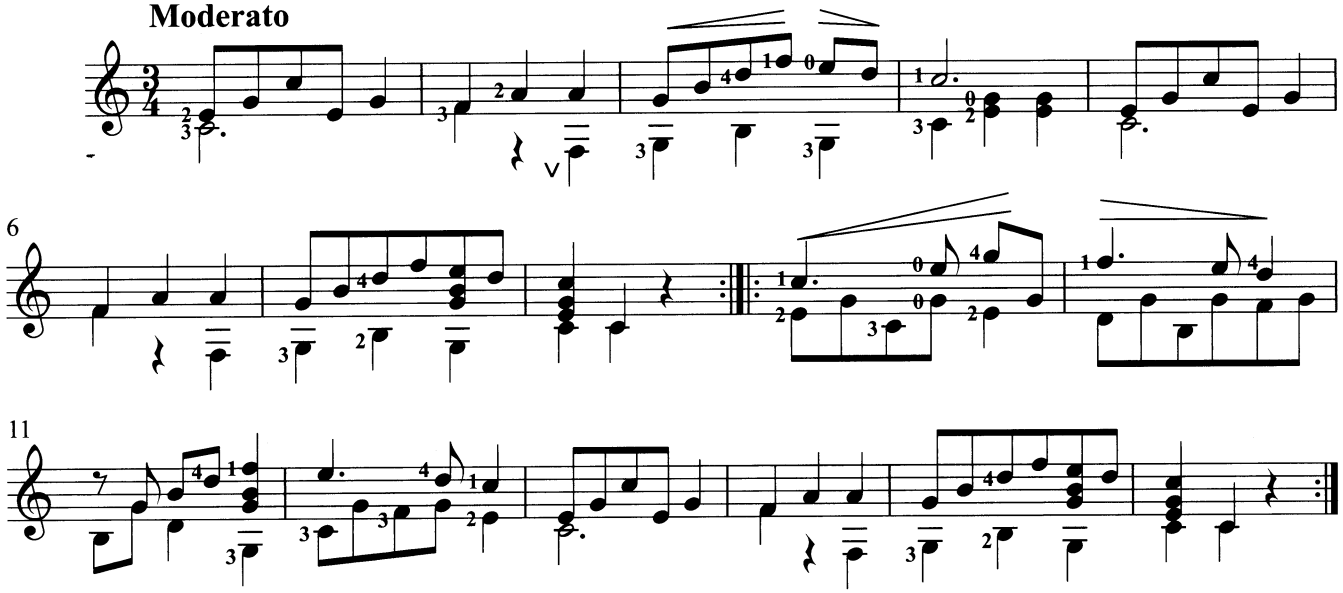
Drunten im Unterland da ist's halt fein

Schwäbisches Volkslied

あの下の低地で（望郷の歌）

Joseph K. Mertz

Kukuk no.29

Moderato

05 付録CD トラックNo.

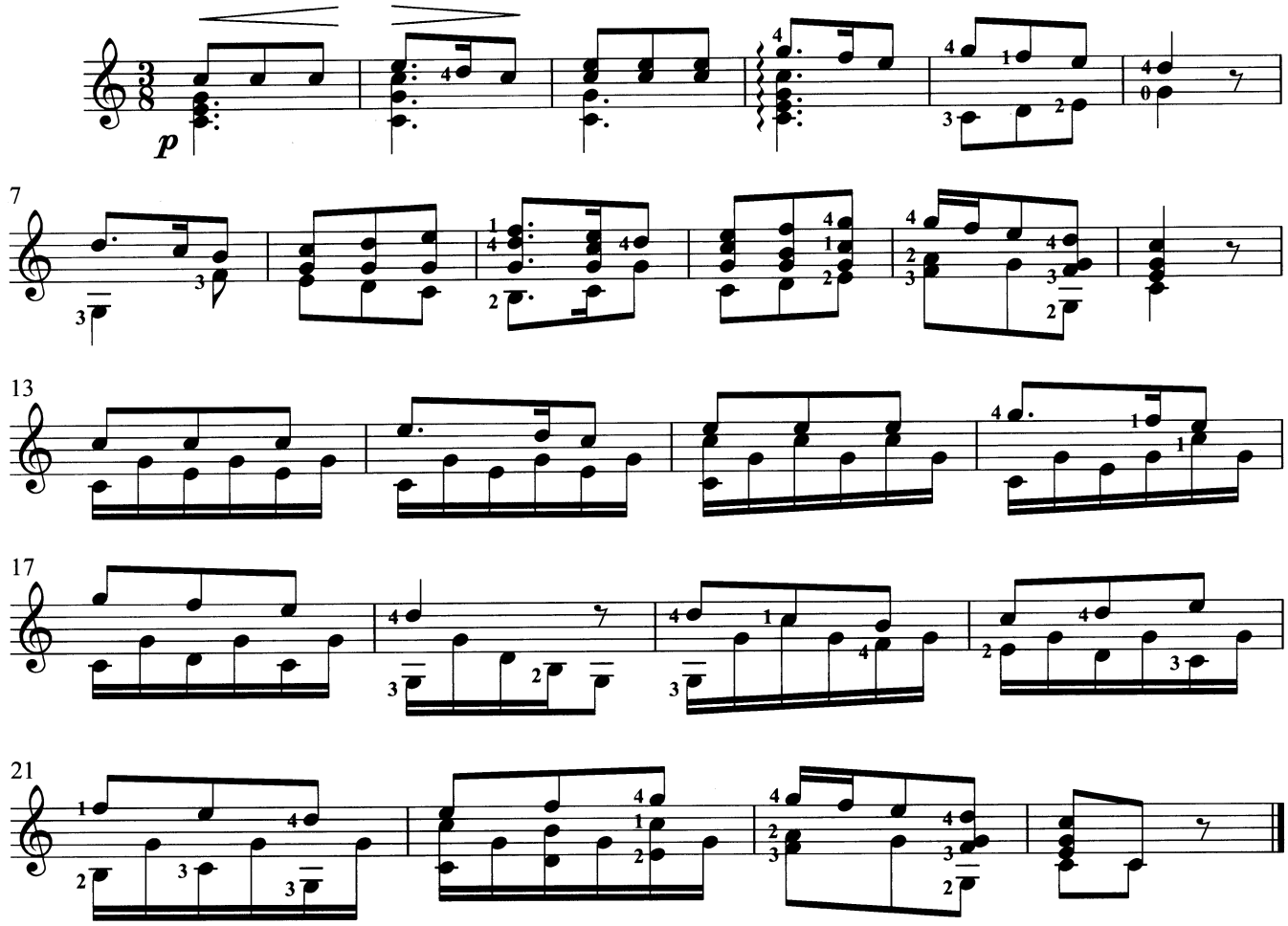
Wenn ich ein Völein wär

Deutsches Volkslied

小鳥だったら（夜汽車）

Joseph K. Mertz

Kukuk no.91

Moderato

06 付録CD トラックNo.

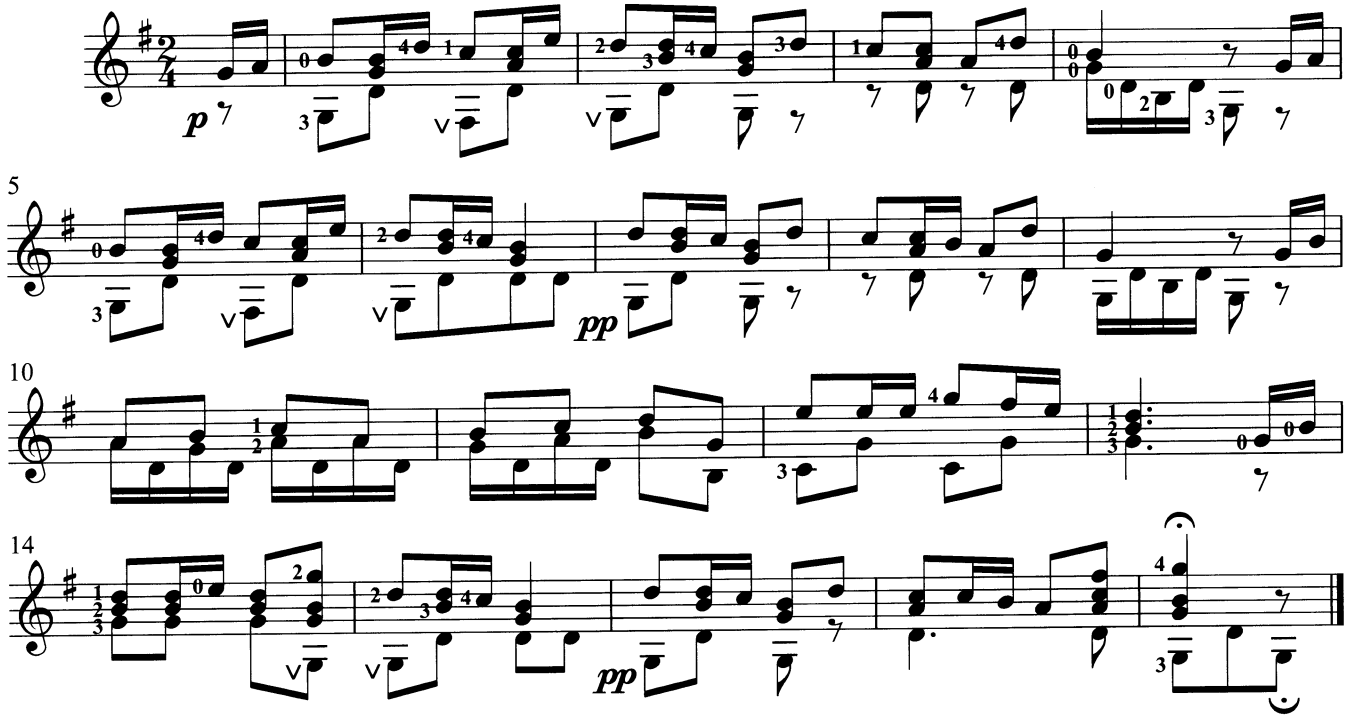
Abchied

Schwäbisches Volkslied

わかれ

Joseph K. Mertz

Kukuk no.92

Andante

07 付録CD トラックNo.

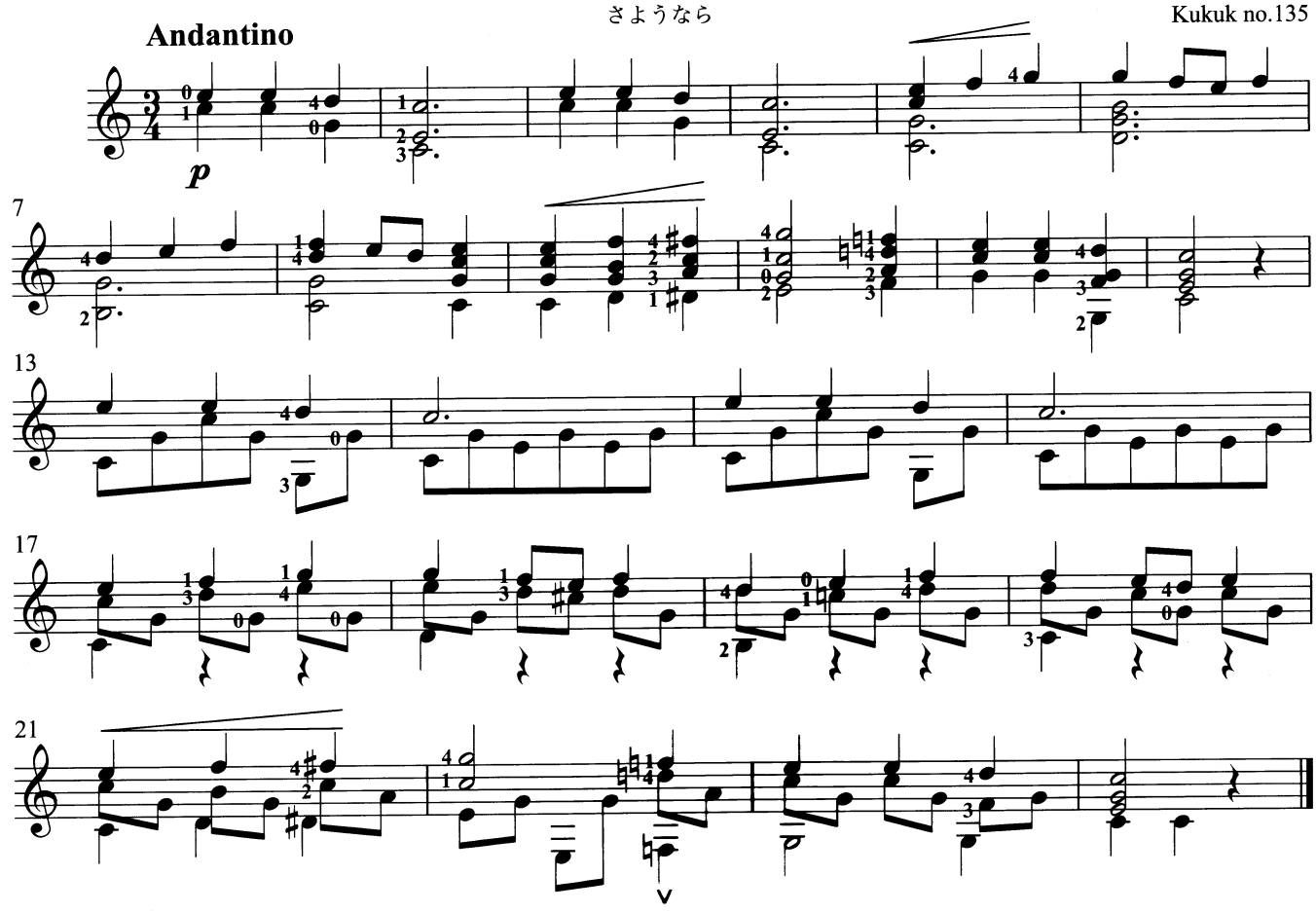
Schätzchen ade! Scheiden thut weh!

Deutsches Volkslied

さようなら

Joseph K. Mertz

Kukuk no.135

Andantino

12の練習曲プロジェクト

これで実力アップ!! Twelve Etudes by Hirokazu Sato

1966年、青森県弘前市生まれ。弘前大学教育学部音楽科卒業。ピアノ、作曲等を学ぶ。ギターを渡辺範彦、永島志基、各氏に師事。90年新人賞選考演奏会で第2位入賞。同年、自作曲がPTNAヤングピアニスト・コンベンションの課題曲に採用される。91年、デビューリサイタル。現在、教授、演奏、編曲、作曲で活動。

佐藤弘和

エチュード3 和音

前号の第2番はいかがだったでしょうか？　かなり手応え(指応え)ありました…？　第1番より難しくなって「こりゃだめだ」と諦める人もいるかと少々心配していますが…。でも、難しさを克服していくところに練習曲を練習する意義がありますし、だんだん弾けるようになっていくところが楽しく、喜びでもありますから頑張ってみてくださいね。

上達していくためには、どうしても計画性を持ってコツコツと取り組むことが必要になります。どうしたら弾けるようになるかじっくり腰をすえて、焦らず考えていくのです。ゆえに練習曲は「どう練習するか」を学ぶ曲でもあるわけなのですね。初めから完璧に弾けてしまう曲は練習曲にはなりません。練習曲だからこそ最初は弾けない出来ないが当たり前。その当たり前のスタートラインに幻滅せず、余裕を持って一歩一歩進んでいきましょう！

「アルペジオ」はひとまずお休み、第3番からは和音の練習曲になります。アルペジオも結局和音のヴァリエーションですから(分散和音と言います)、ハーモニックな音楽において和音をきれいに弾けるというのは絶対条件なのですね。旋律だけを演奏する楽器と違い、特に和音をたくさん弾かなくてはいけないギターにおいては必要不可欠のテクニックと言えるでしょう。

きれいに弾くと一口に言っても、音色やバランス、響かせ具合などのコツをつかむには一筋縄ではいきませんし、和音の性格・和音同士のつながりを感じる感覚も磨かねばなりません。和音を魅力的に弾いて聴かせるには熟練した匠の技がいるのです！

さて曲ですが、この曲はソルの練習曲に例えると、Op.6の1番と2番(セゴビア編の3、4番)を足したようなパターンの曲になっています(あるいはOp.35-18はそのものズバリ、Op.6-12は3連符になった応用編)。常に右手a(メロディ)とp(ベース)をまず同時に弾き、その直後im(内声)を同時に弾きます。言ってみればこのp-aとi-mの二人三脚のようなパターンがすばやく連続して行なわれるので少々あわただしくはなりますが、スピード感が増しリズミカルになります。

●1〜4。曲のテーマ。ニ長調。すべての発想はこの部分から始まります。メロディがアルペジオで上行、ベースは1音ずつ下行。1拍ごとに押さえも変わりポジション移動もありますから、何度も練習して動きのスピードに慣れるようにしてください。5〜9も繰り返しですが、終わりのほうが少し変化し次に続きます。

●10〜13。ベースの動きが止まり、和音の変化も1小節ごととなります。のびのびした感じで。

●14〜19。音は変わりますが2小節単位の同じパターンの繰り返しになります。このような繰り返しを“ゼクエンツ”といいます。左手はポジションが変わっても運指は一緒ですから、パターンさえ覚えれば楽です(セーハは大変ですが!)。

●20〜28。第2テーマのような感じの部分。平行調のロ短調。下行するベースラインを意識してリズミカルに弾きましょう。

●29〜37。この部分は10〜18を完全4度高く移調したもので、内容的には全く同じ。調を変えての繰り返しも練習曲ぽい、あるいは作曲上の手抜き!?

●38〜41。最初のテーマに戻る準備をします。39, 41などで裏拍で音が変化しますが焦らず、弾ききってから次に移るよう注意します。

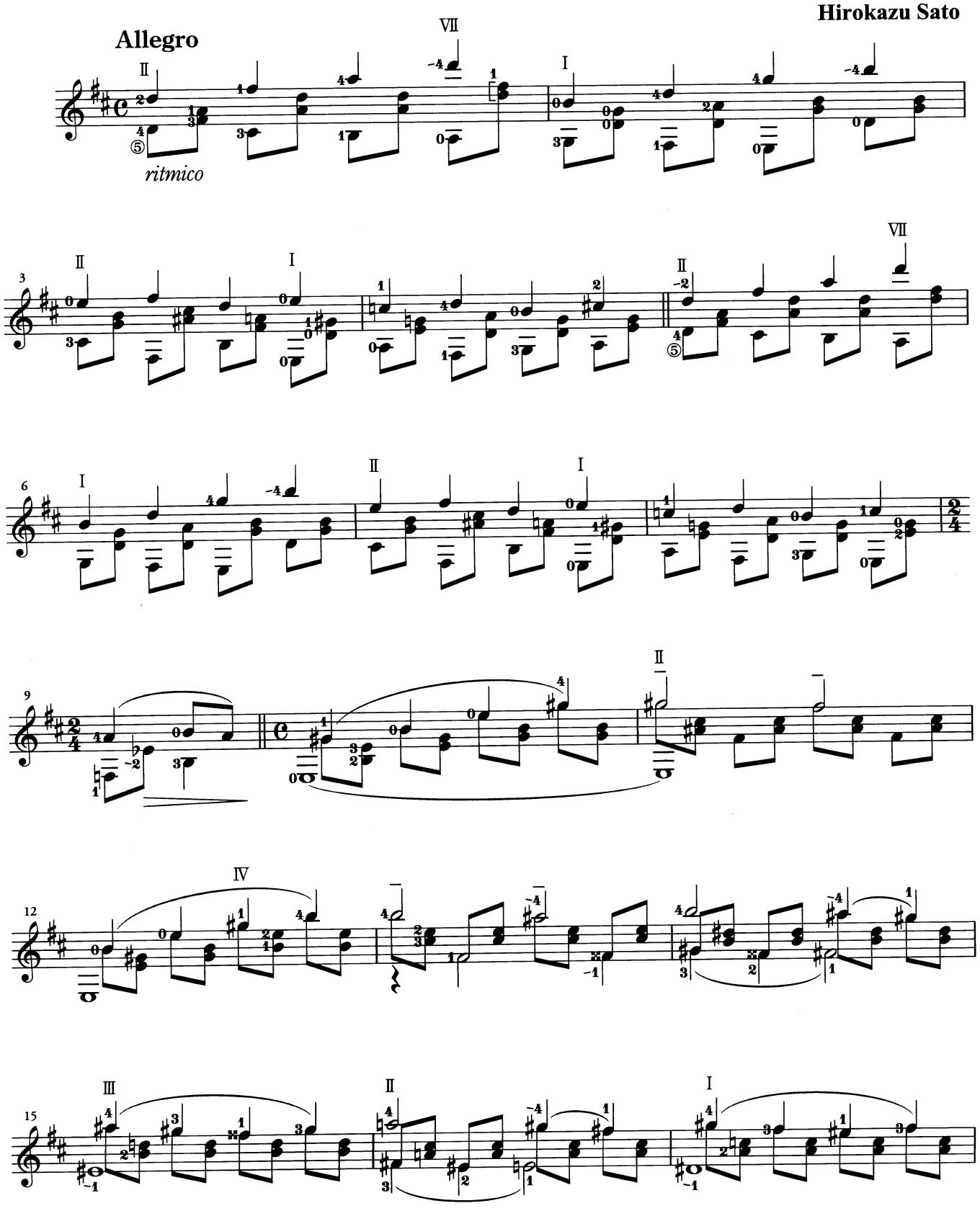
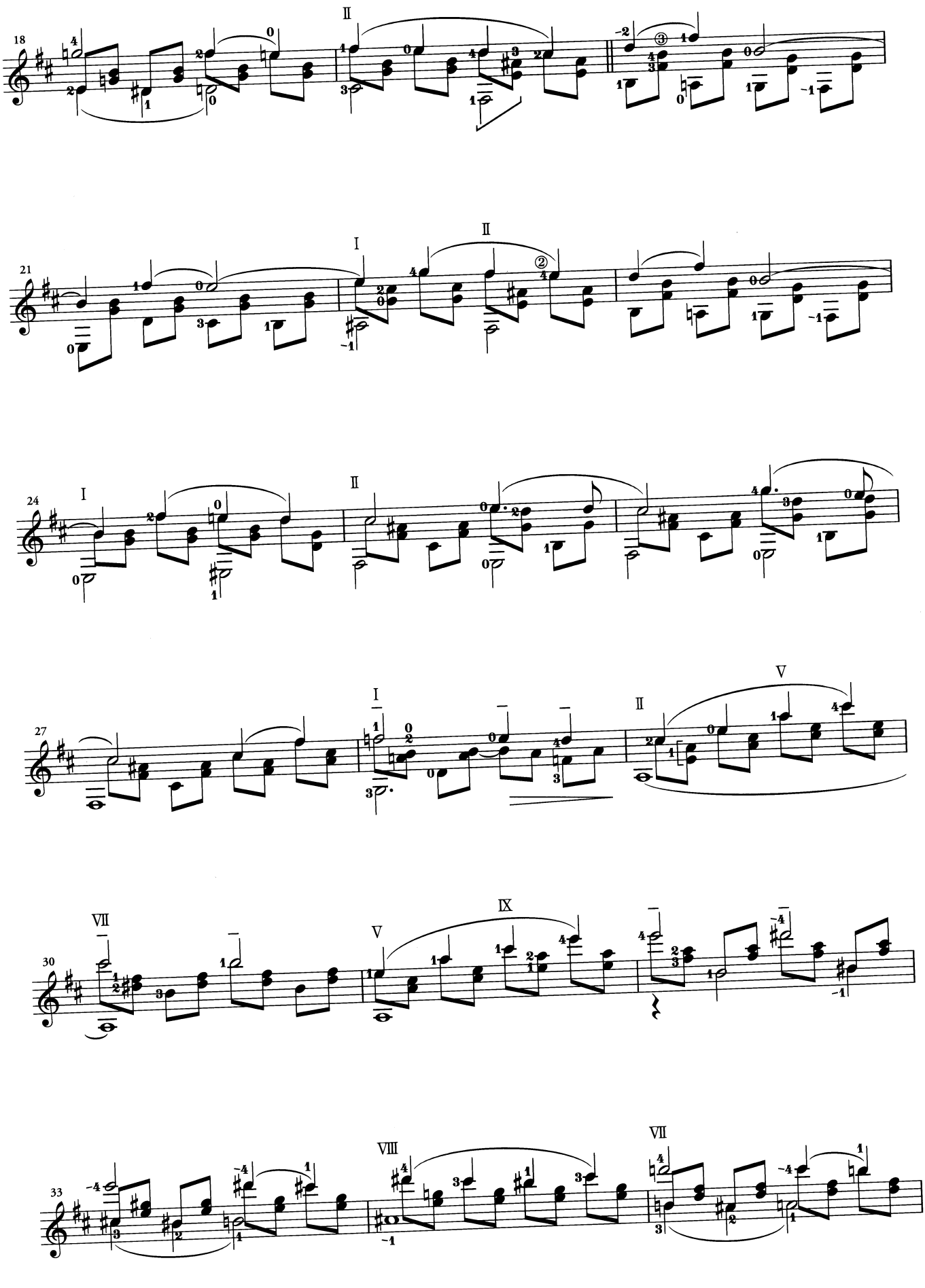
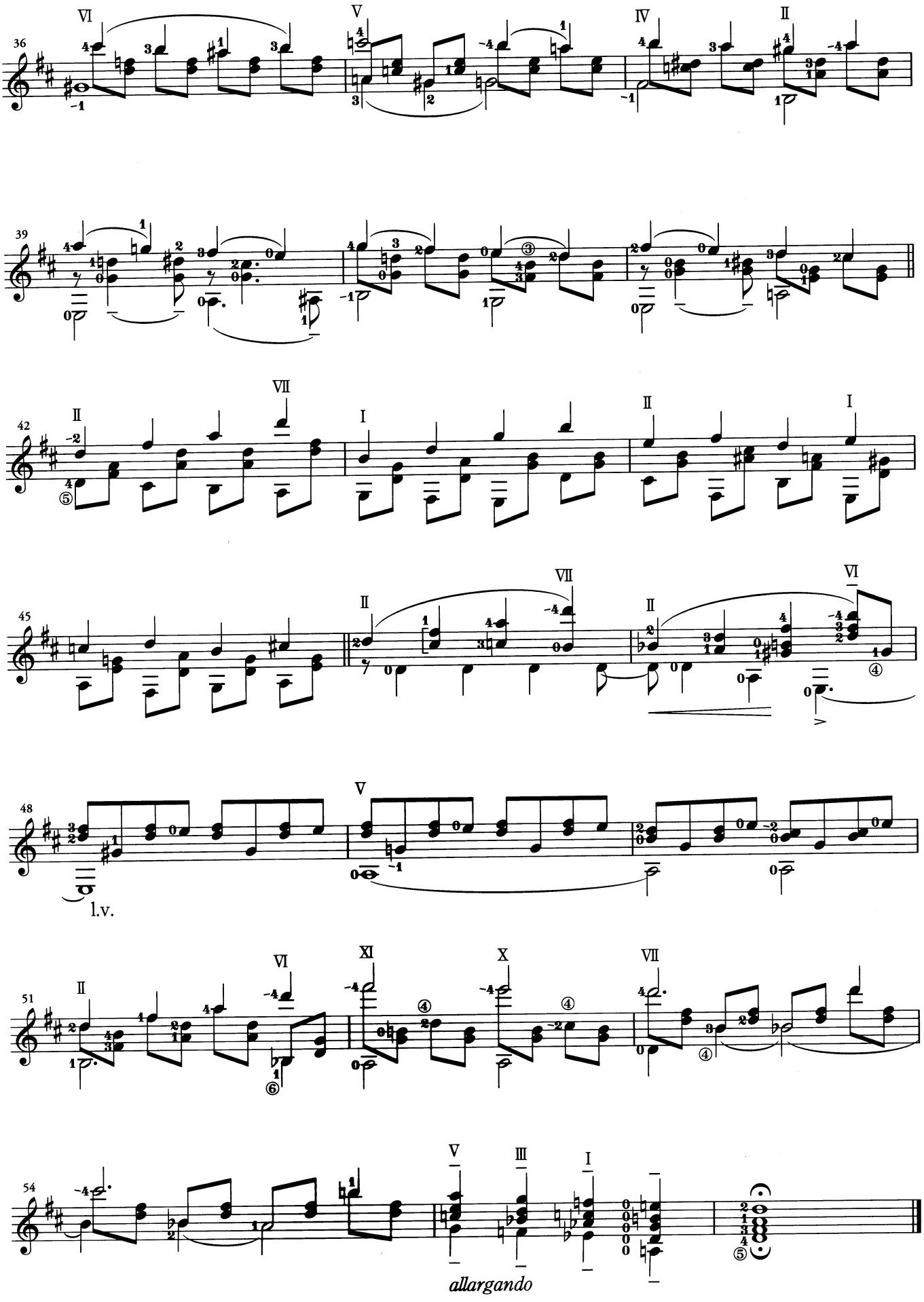
●42〜45。最初のテーマの再現。すぐに46からコーダになります。多少パターンから離れるので柔軟さが必要です。とくに47 3拍裏から50まで十分に響かせるようにしてください。この練習曲自体、和音を響かせるというより歯切れよく切り気味に演奏するようにもなっているので、最後のこの部分は終わりらしい雰囲気を演出します。

●55〜56。最後の和音は意志を持って1つ1つはっきりと力強く。決然と弾ききります。

ISBN 978-4-[illegible]

03 付録CD トラックNo.

Etude No.3

Hirokazu Sato

© Copyright 2009 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.

18
II
21
I
II
24
I
II
27
I
II
V
30
VII
V
IX
33
VIII
VII

36
VI
V
IV
II
39
42
II
VII
I
II
I
45
II
VII
II
VI
48
V
l.v.
51
II
VI
XI
X
VII
54
V
III
I
allargando

Repertoire of Guitarists
ギターグルメのためのレパートリー

付録CDに模範演奏が収録されています。

フランシスコ・タレガ
夢（マズルカ）

タレガ入門と言ってもよいほど中級者には馴染みのある曲です。ショパンの《マズルカ第5番》にそっくりなこの曲を聴くと「ああ、マズルカってこんな感じかあ！」と目から鱗です。3拍目の重く引っ張るようなアクセントに特徴があります。タイトルが「夢」とあるので、夢見心地の気分で弾くのかと長い間思っていましたが、むしろ明るくて活発な印象が似合うようです。後半にあるmisteriosoは謎のままですが・・・。（毛塚功一）

二橋潤一
哀歌～N氏の死を悼んで

12月の初め、私の友人がお正月を迎えることなく亡くなりました。入院してから、北海道と東京でメールのやりとりをしていましたが、11月の私のメールには、とうとう返信がありませんでした。彼の死を悼んで曲を作りました。（二橋潤一）

佐藤弘和
ハ長調の3つの小品

今回はハ長調。♯や♭が付かず一見簡単そうな調ですが意外に難しい…。ソルのソナタなどはOp.15,22,25とすべてこの調で書かれていますが、弾きにくいので少々敬遠されていますしね。それでも音楽的には基本的な調と言えるでしょう。「ガヴォット」は最も愛好される2/2拍子のフランス起源の古典舞曲。この曲ではセーハの和音を多用してみました。力まず焦らず、和音の押さえ変えに注意しましょう。「森の小径」は文字どおり森の小径を散歩するようなリラックス気分で。16分音符のリズムは軽やかに。最後の方ではカッコウの鳴き声が何度も聞こえてきます。「ショーロ」は独特のシンコペーションのリズムをノリよく弾ければ、細かな表情は過度につけなくともよいでしょう。そういう意味ではポピュラー音楽に近いかも。決して速すぎず。（佐藤弘和）

マヌエル・ポンセ
ルンバ

マズルカ、ワルツ、トロピコ、ルンバからなる《4つの小品》の終曲。全体にキューバのリズムが溢れている。（菅原 潤）

中林淳真
ソナチネ「アマデウスの心」

アマデウスがもしギターを弾いていたならば…との発想の作品です。モーツァルトが好きで、3年間毎日1時間以上あらゆる作品を聴いているうちに仕上がった曲です。ベートーヴェン、ブラームス、リストなどをギターで表現するのは困難ですが、ソルの作品でも証明されるようにモーツァルトには可能性があります。曲想はモーツァルト的です。彼の作品にこのテーマのメロディーはありませんが、この曲はアマデウス表現にマッチしているかなと思います。献呈したフアン・カルロス・ラグーナも、弾いていて幸せな気持に満たされるとのことでした。演奏は、自然体で弾いていれば楽にマスターできます。音楽セラピーでモーツァルトがよく使われ、私もこの曲を弾いていて心身共に爽快になる、不思議な曲でもあります。（中林淳真）

フェルディナンド・カルッリ
24のデュエットより（ギター教則本 op.27 より）

第18番は序奏と歌のような関係の2セクションからなっています。前半では④にみられるような8分音符と3連符が交錯するところや⑦のように付点音符と3連符が同時に現れる場面で、4分音符のリズムを共有しないと乱れますから注意です。また⑳からの長いフレーズを歌うことも練習者にとって良い課題になるでしょう。後半のメロディは《キラキラ星》に酷似していますね。拍子変更以外とくに指示がないので迷うところですが㉟の終わりを軽いrit.とし、㊱からは速度を50パーセント増し程度…つまり、3連符のビートが8分音符になるくらいにして楽しく活き活きと演奏してみてはいかがでしょうか。（長谷川郁夫）

ヨーゼフ・カスパル・メルツ
夕べの祈り

何かのメロディに似ていると思ったらベートーヴェンの《第九》でした。第4楽章の《歓喜の歌》のメロディーに対する副旋律という形で途中から登場するメロディです。前号のショパン風なものもそうですが、メルツは大作曲家の作品をよく研究して親しみ、自分の作曲に生かしていたのでしょう。曲の前半①～⑯はすべて4分音符の和音で進行するコラール。2人の弾弦タイミングがぴたりと合うように。⑰～㉝の中間部は2ndの3連符の細かで揺れるような動きの上に、祈りのメロディが、厳かに奏されます。3連符とは厳密には合わないので4拍子のゆったりとしたノリを感じながらレガートに歌ってください。㉞～㊽までは前半と全く同じ再現ですが㊾～㊿の短いコーダが付け加えられています。祈るように穏やかに淡々と演奏してください。（佐藤弘和）

ミハイル・イッポリトフ＝イワノフ（壺井一歩・編曲）
酋長の行列

ミハイル・イッポリトフ＝イワノフが1894年に作曲したオーケストラ曲《コーカサスの風景》から第4曲《酋長の行列》をお届けします。イッポリトフ＝イワノフのほぼ唯一といってよい代表曲ですが、その明解で親しみやすい旋律はポピュラーな人気を得るだけのことはあります。演奏にあたっては、同じ旋律が何度も繰り返されて盛り上がっていくという単純な構造から、全体のダイナミクスの設定が肝心かもしれません。（壺井一歩）

久保田早紀（平倉信行・編曲）
異邦人

1979年、ちょうど30年前に大ヒットした曲です。楽曲の良さももちろんですが、エキゾチック、アラビック、オリエンタル…はまりやすい要素をたくさん持っていますね。リズムは地に付いてはっきりと、歯切れ良い感じをキープしてください。特にD,Eの4thのベースはスタッカートをしっかり出し、表拍をしっかり弾き、裏拍は軽くリズムをとるぐらいの気持ちでよいでしょう。Fからはメジャーになります。コードをゆったりと響かせ全体を支えてください。Gのメロディーは④弦や⑤弦を中心にして柔らかくゆったりと歌い、3rdの伴奏は幾分堅めの音で歯切れよく弾くと効果的です。（平倉信行）

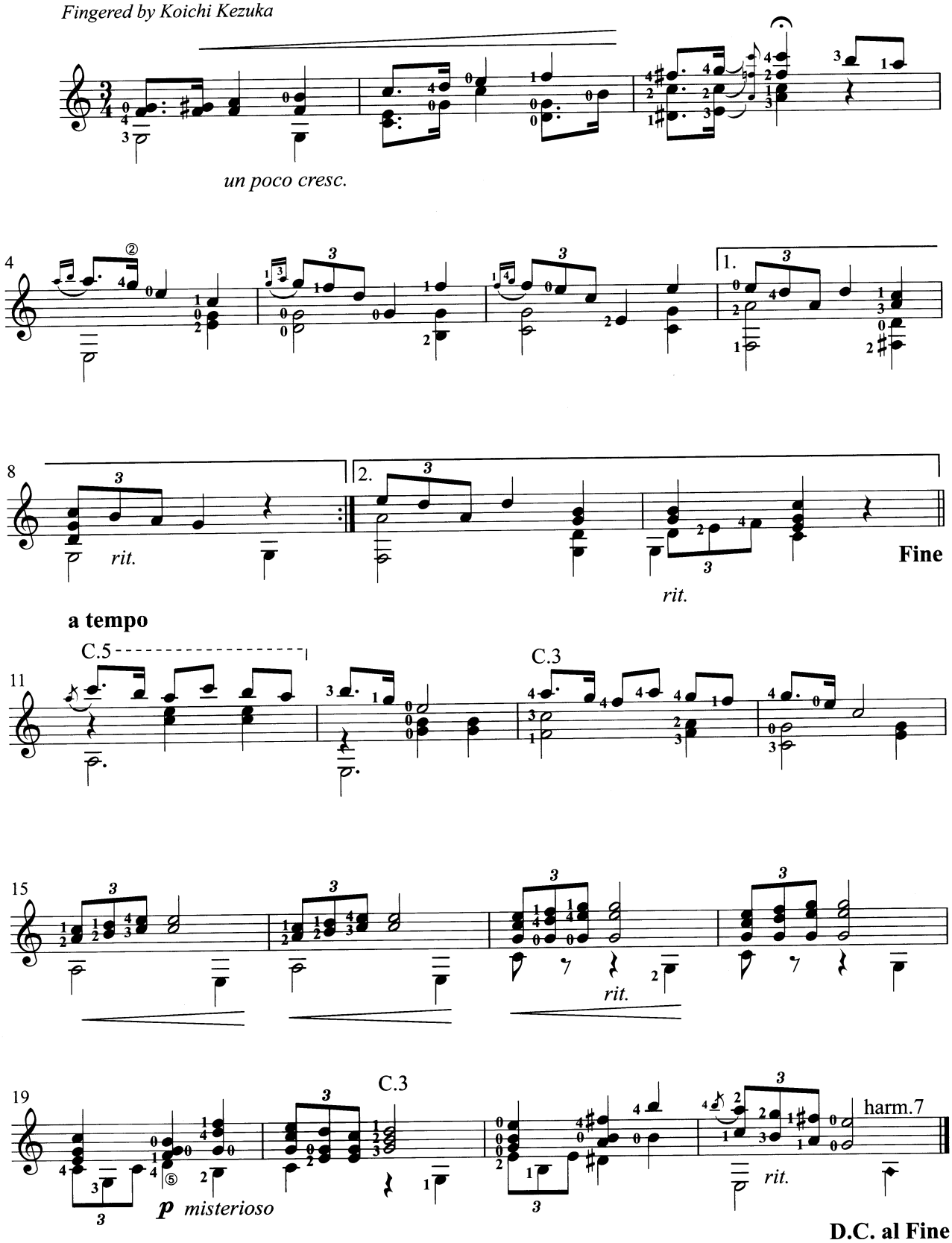
付録CD 11 トラックNo.

Sueño

Mazruka

夢（マズルカ）

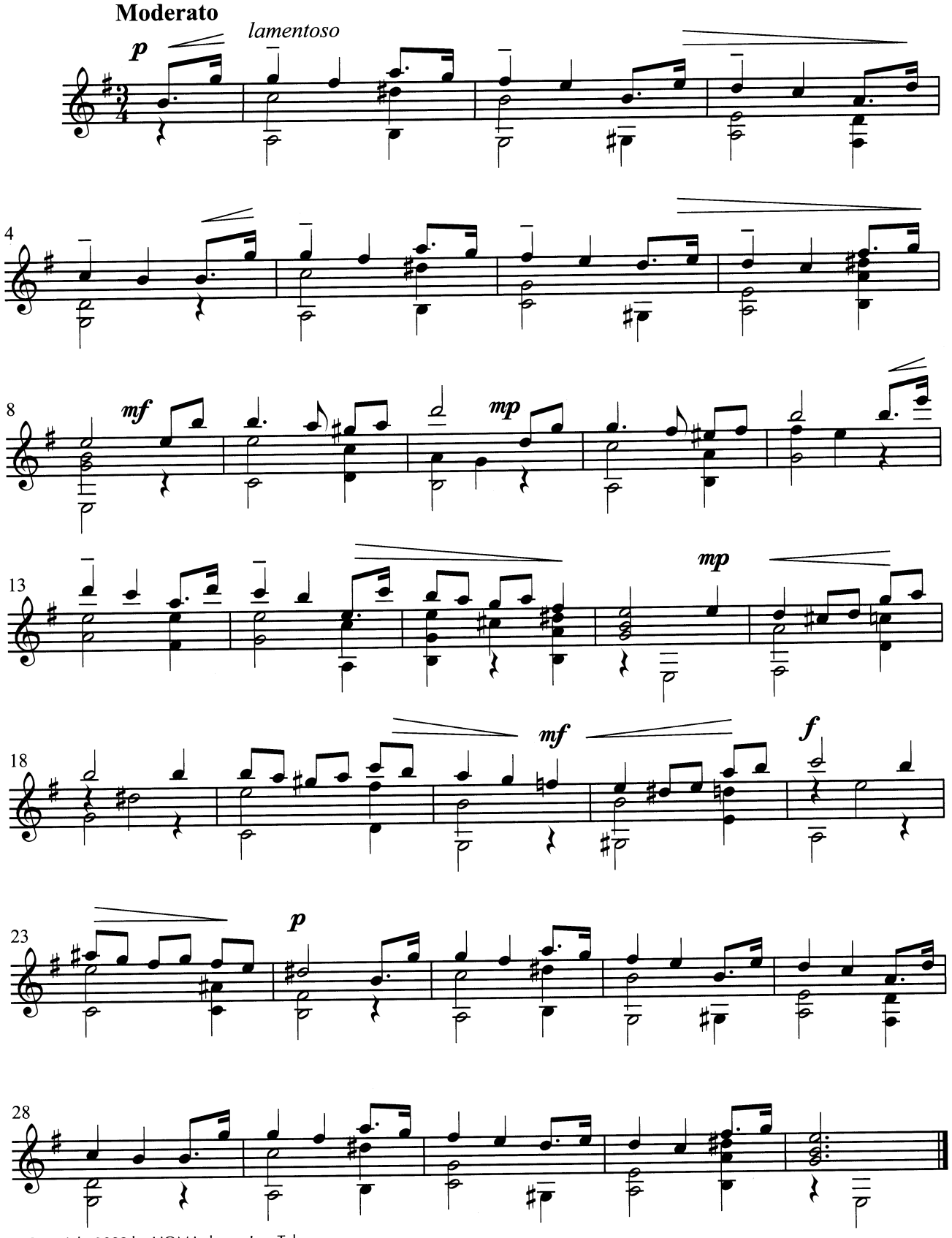
Francisco Tarrega

Fingered by Koichi Kezuka

付録CD ◎ トラックNo. 12

Lamento pour la mort de Monsieur N.

pour guitare seule

哀歌～N氏の死を悼んで

Jun-ichi Nihashi
2008

© Copyright 2009 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Print in Japan.

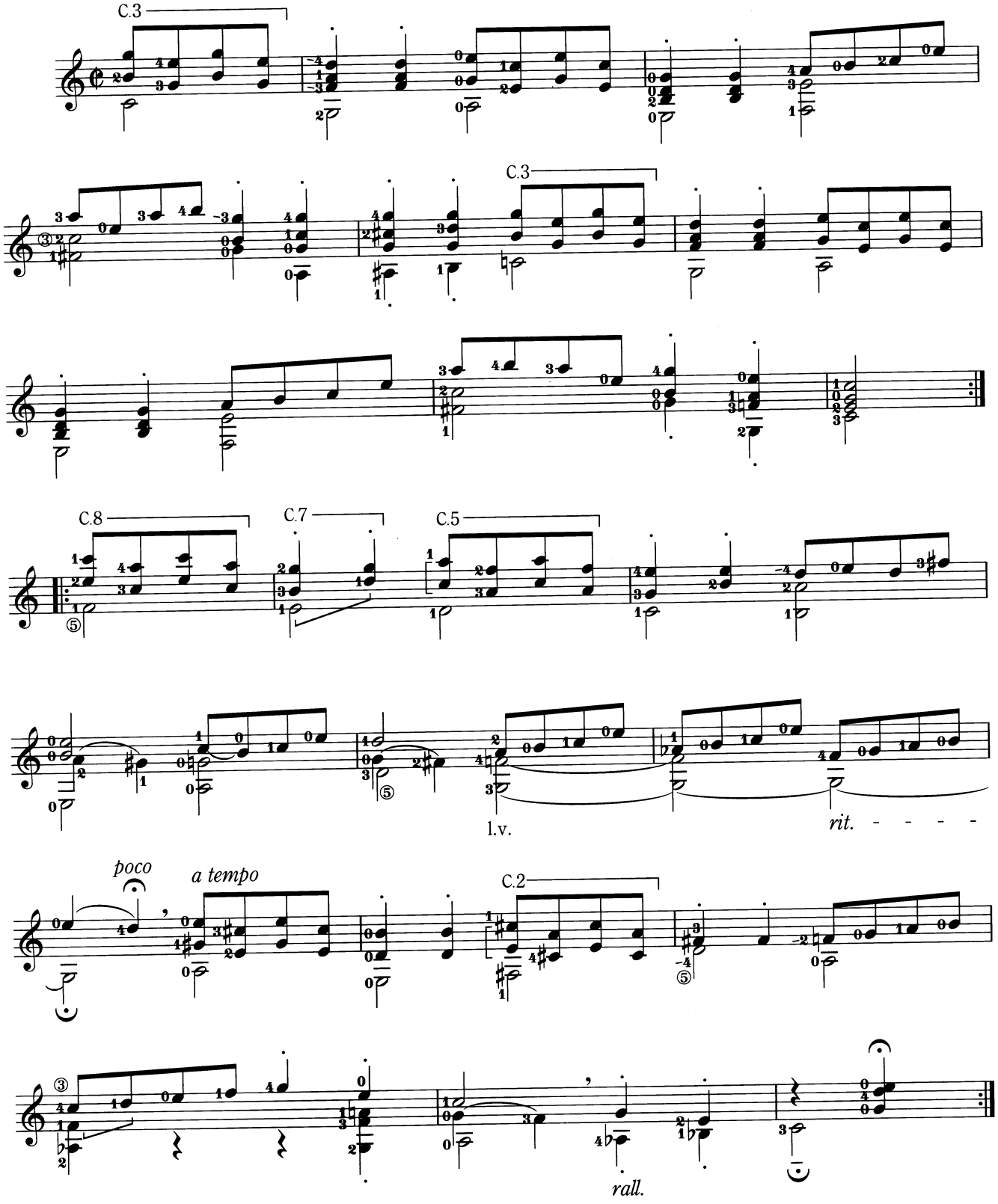
付録CD
08
トラックNo.

Three Pieces in C major

1. Gavotte

ガヴォット

Tempo di Gavotte

Hirokazu Sato

© Copyright 2009 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.

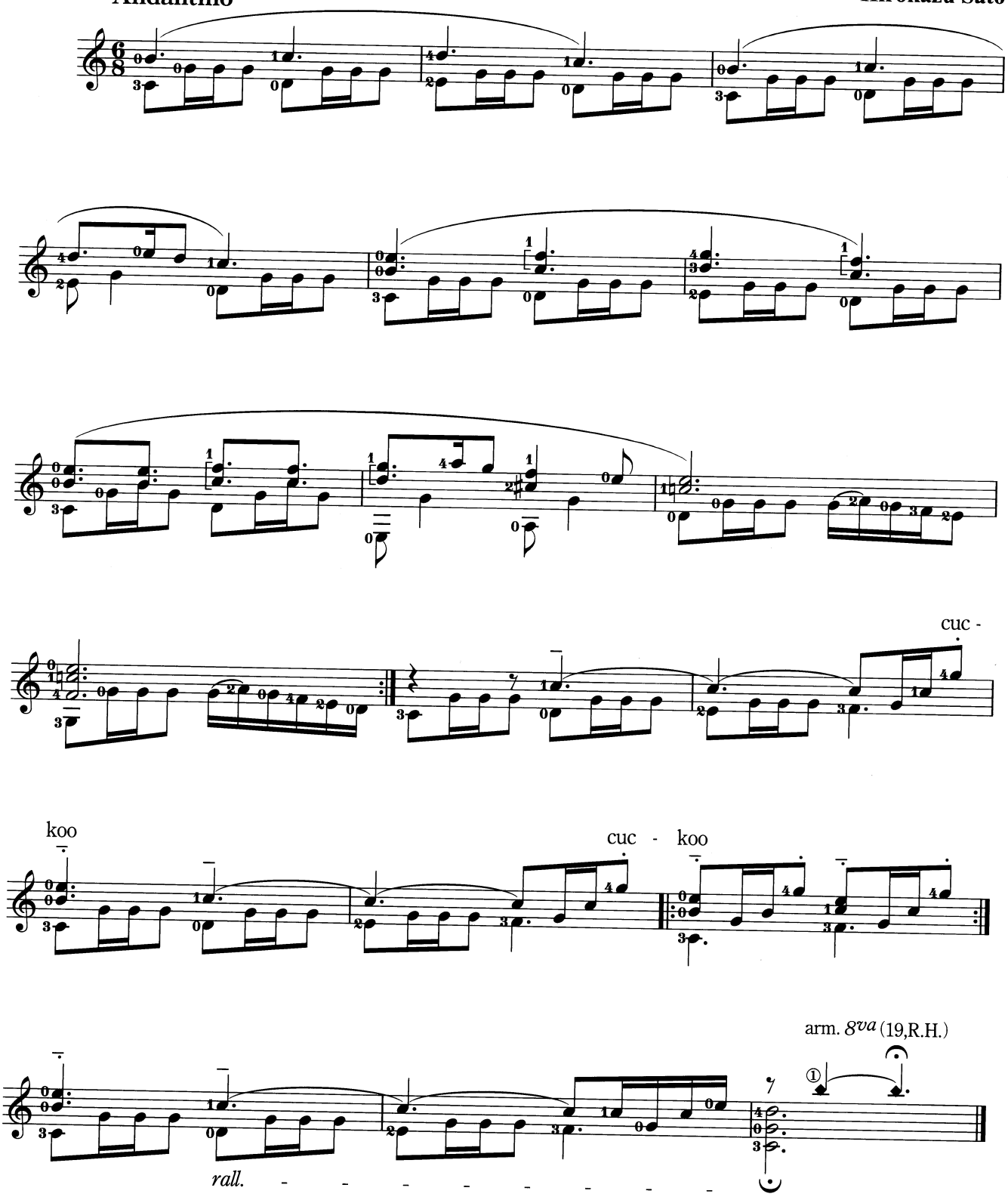
付録CD 09 トラックNo.

2. Forest Path

森の小径

Andantino

Hirokazu Sato

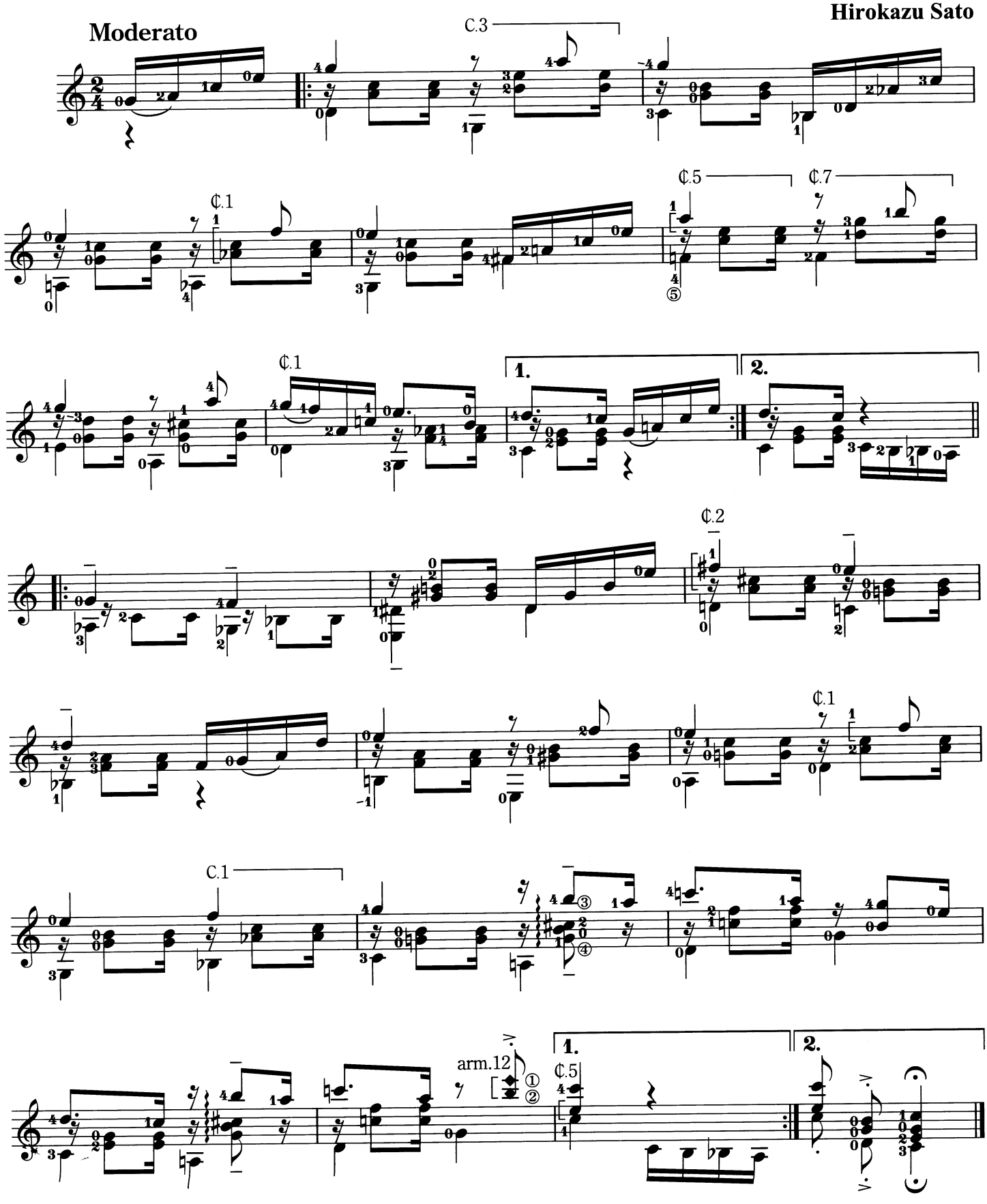


© Copyright 2009 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.

10 付録CD ◎ トラックNo.

3. Choro

ショーロ

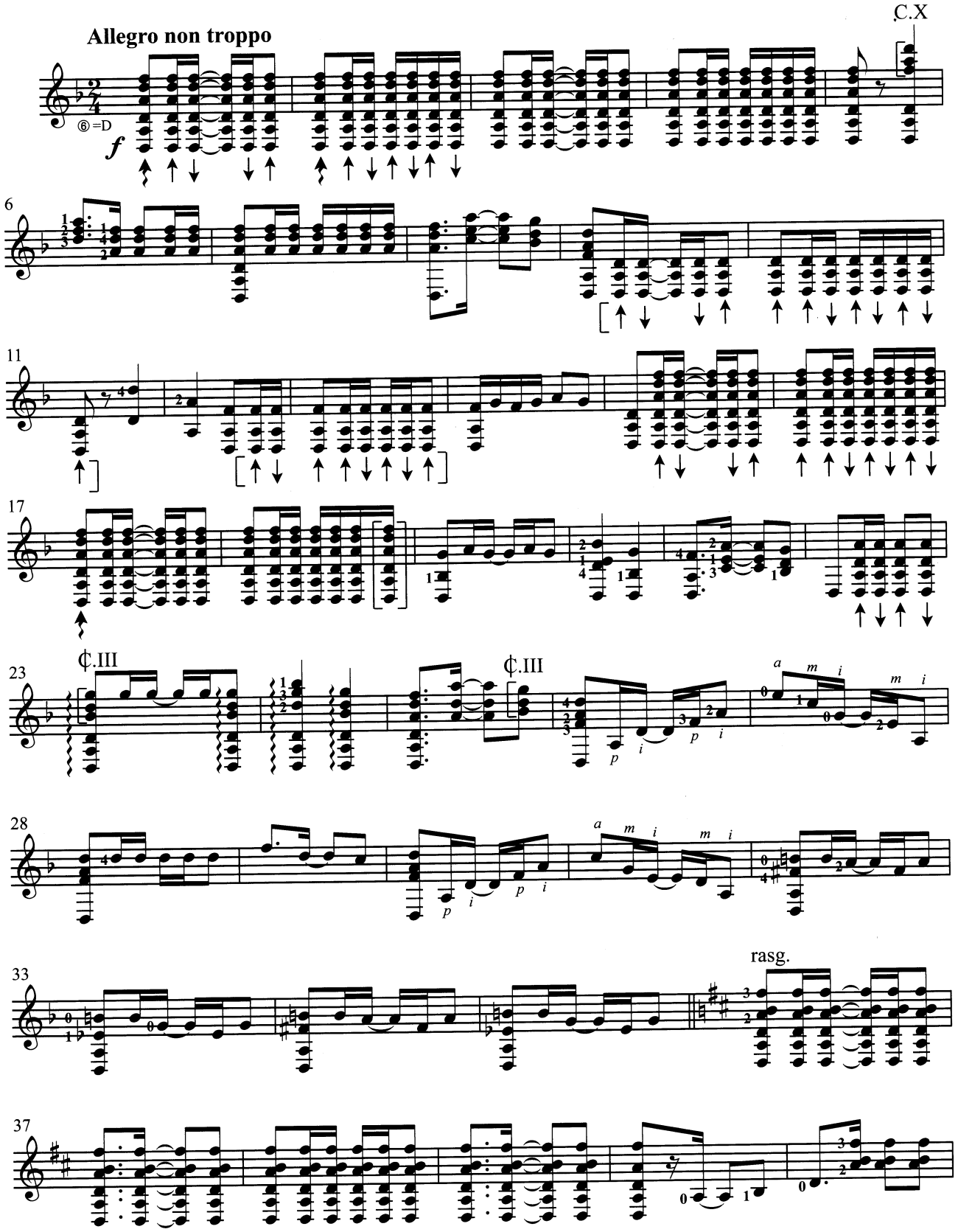
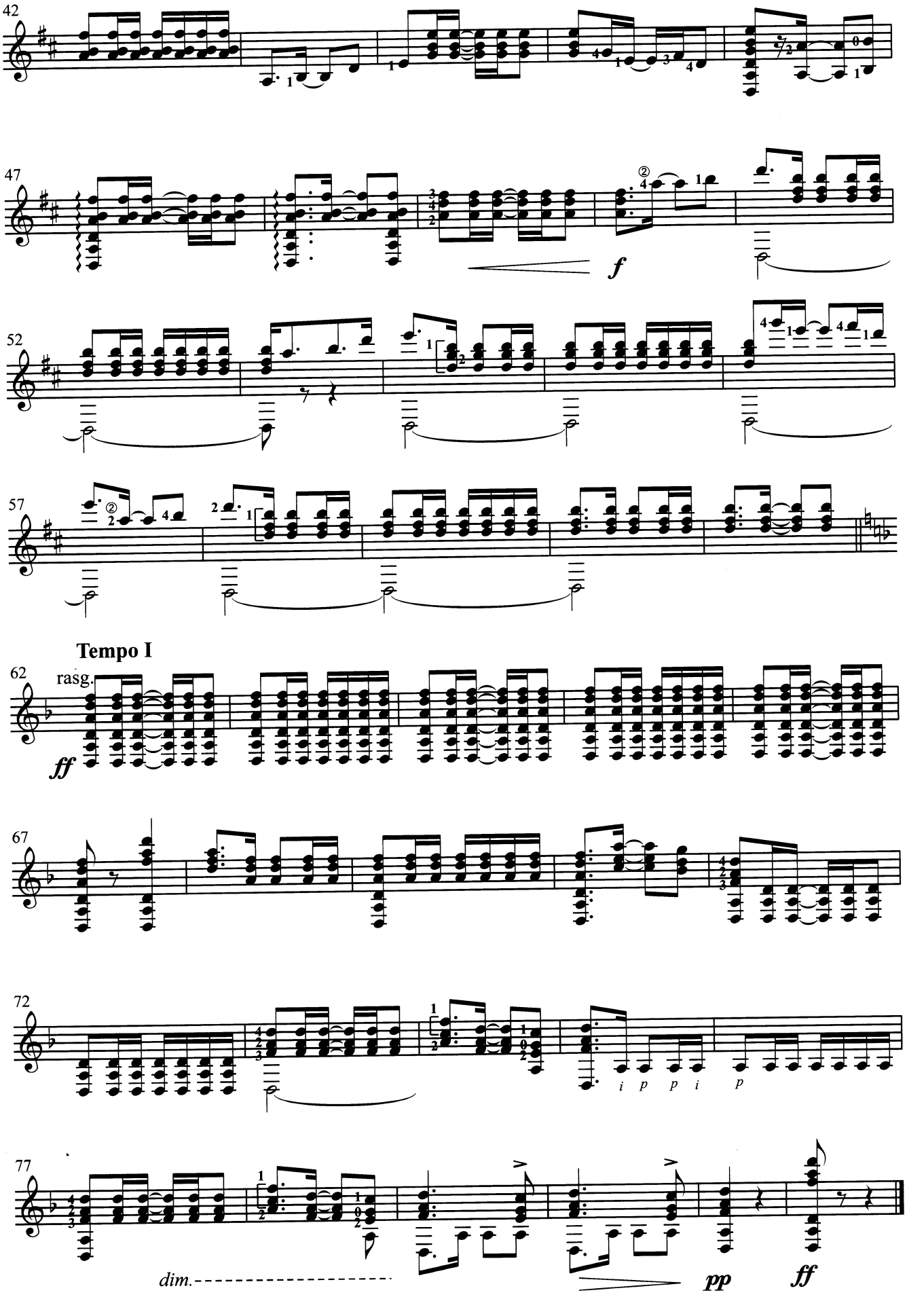
Hirokazu Sato

© Copyright 2009 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.

19 付録CD トラックNo.

Rumba

de quatro piezas

Manuel M. Ponce

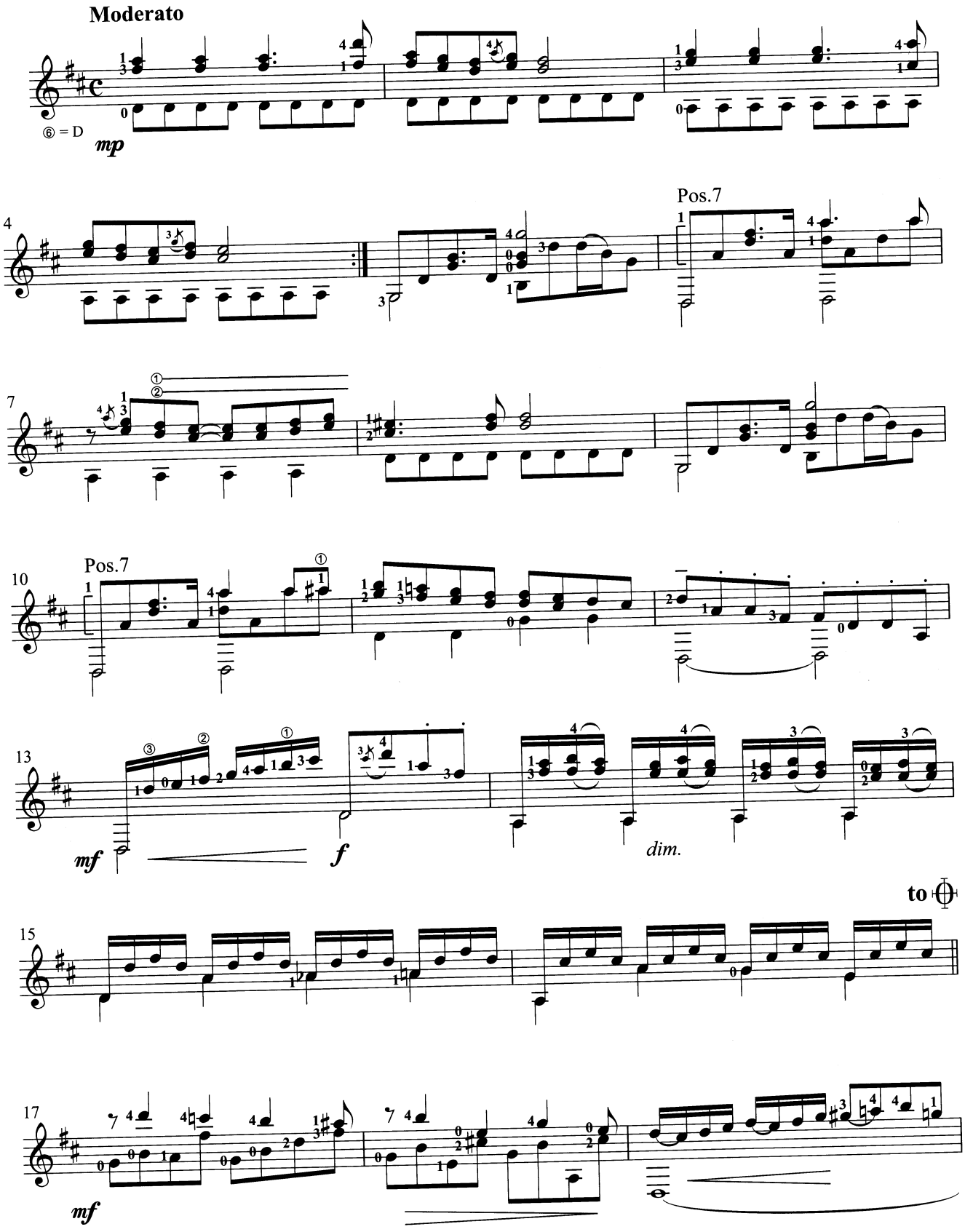
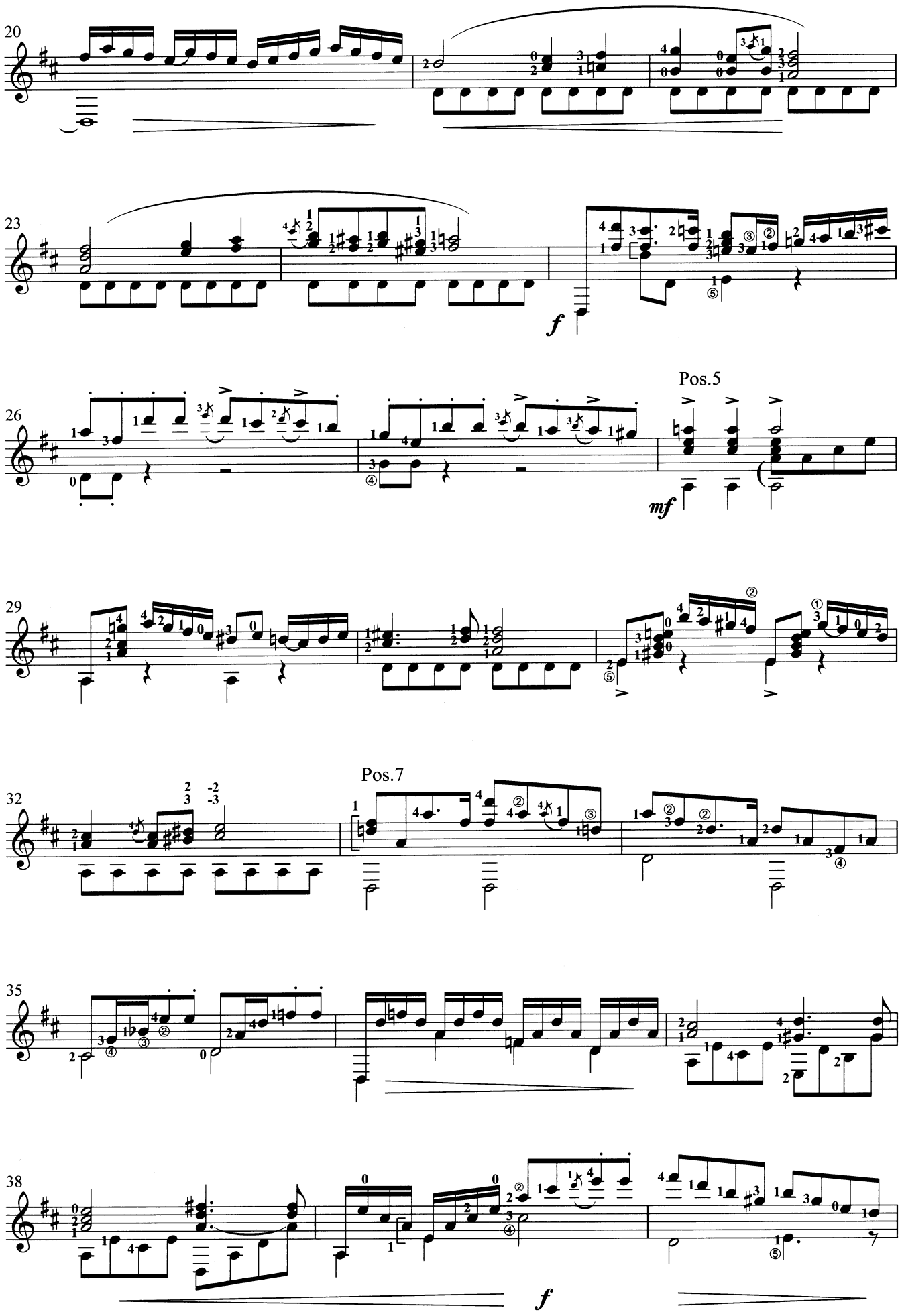
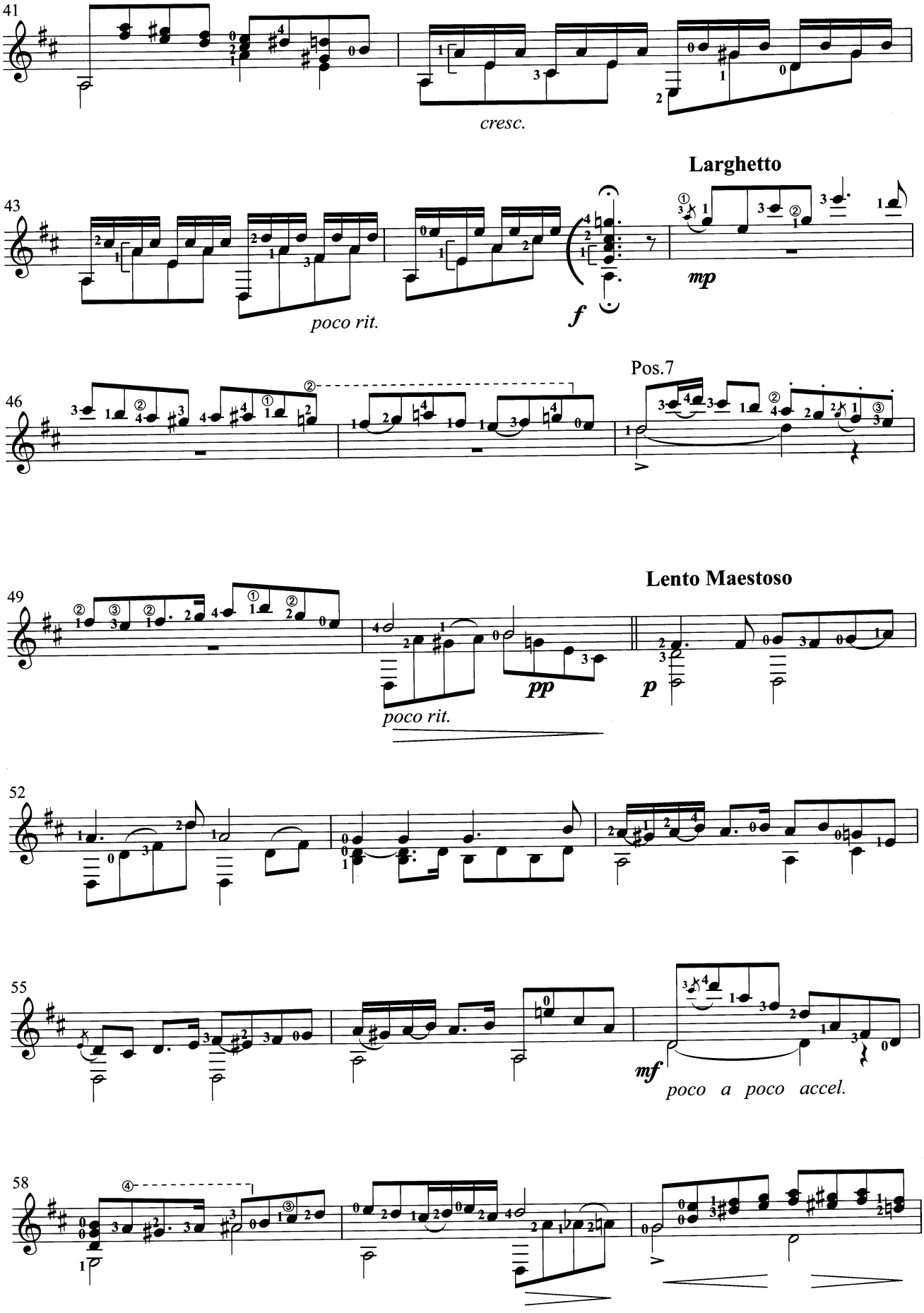
Fingered and edited by Juan Carlos Laguna

ISBN 978-4-9624[illegible]

42
47
f
52
57
Tempo I
62
rasg.
ff
67
72
i p p i p
77
dim.
pp
ff

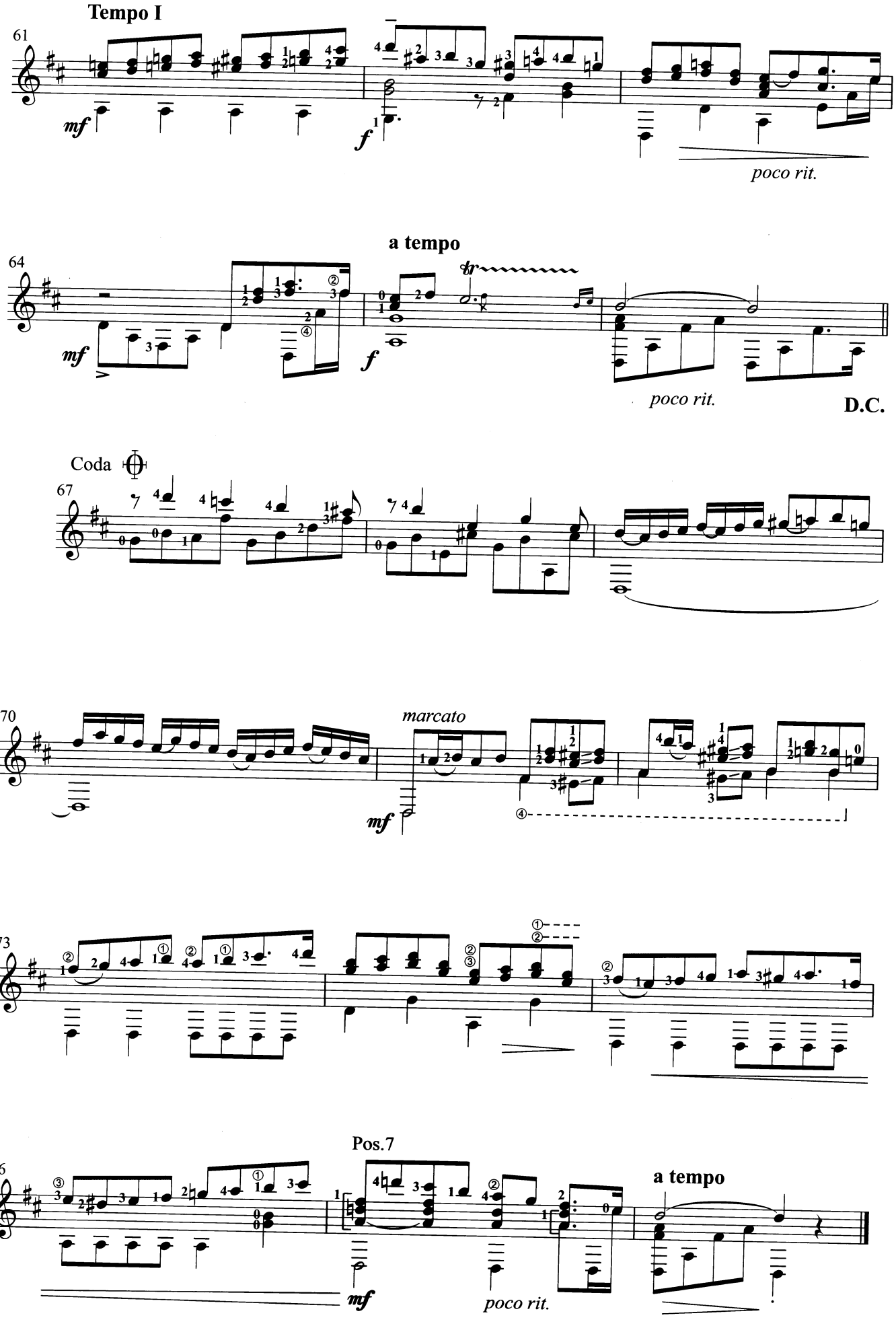
18 付録CD トラックNo.

para Juan Carlos Laguna

Sonatina
El Corazón de Amadeus

ソナチネ「アマデウスの心」

Atsumasa Nakabayashi
2008

20
23
f
Pos.5
26
mf
29
Pos.7
32
35
38
f

41
cresc.
Larghetto
43
poco rit.
f
mp
Pos.7
46
Lento Maestoso
49
poco rit.
pp
p
52
55
mf
poco a poco accel.
58


Tempo I
61
mf
f
poco rit.
a tempo
64
mf
f
poco rit.
D.C.
Coda
67
70
marcato
mf
73
Pos.7
76
mf
poco rit.
a tempo

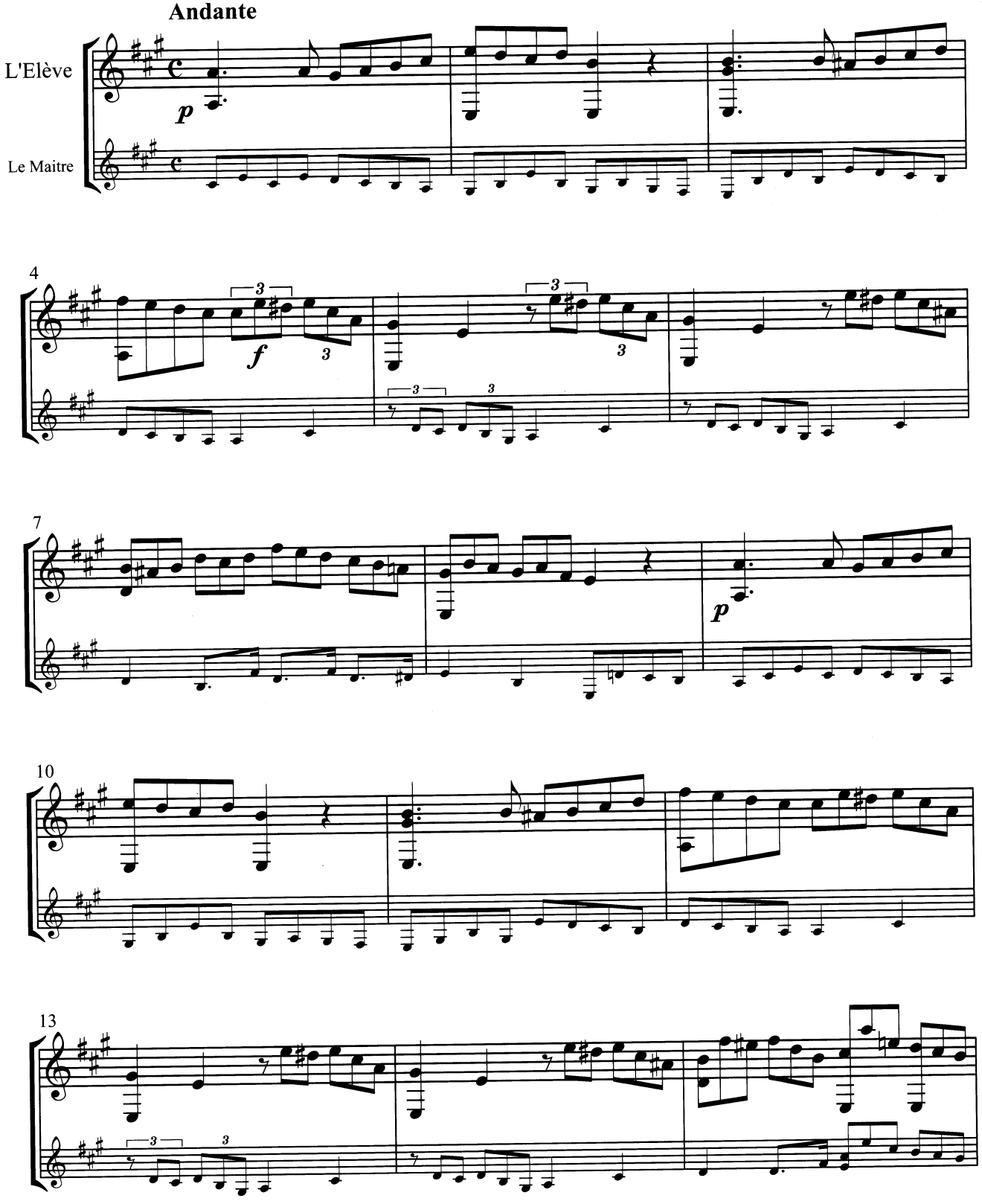
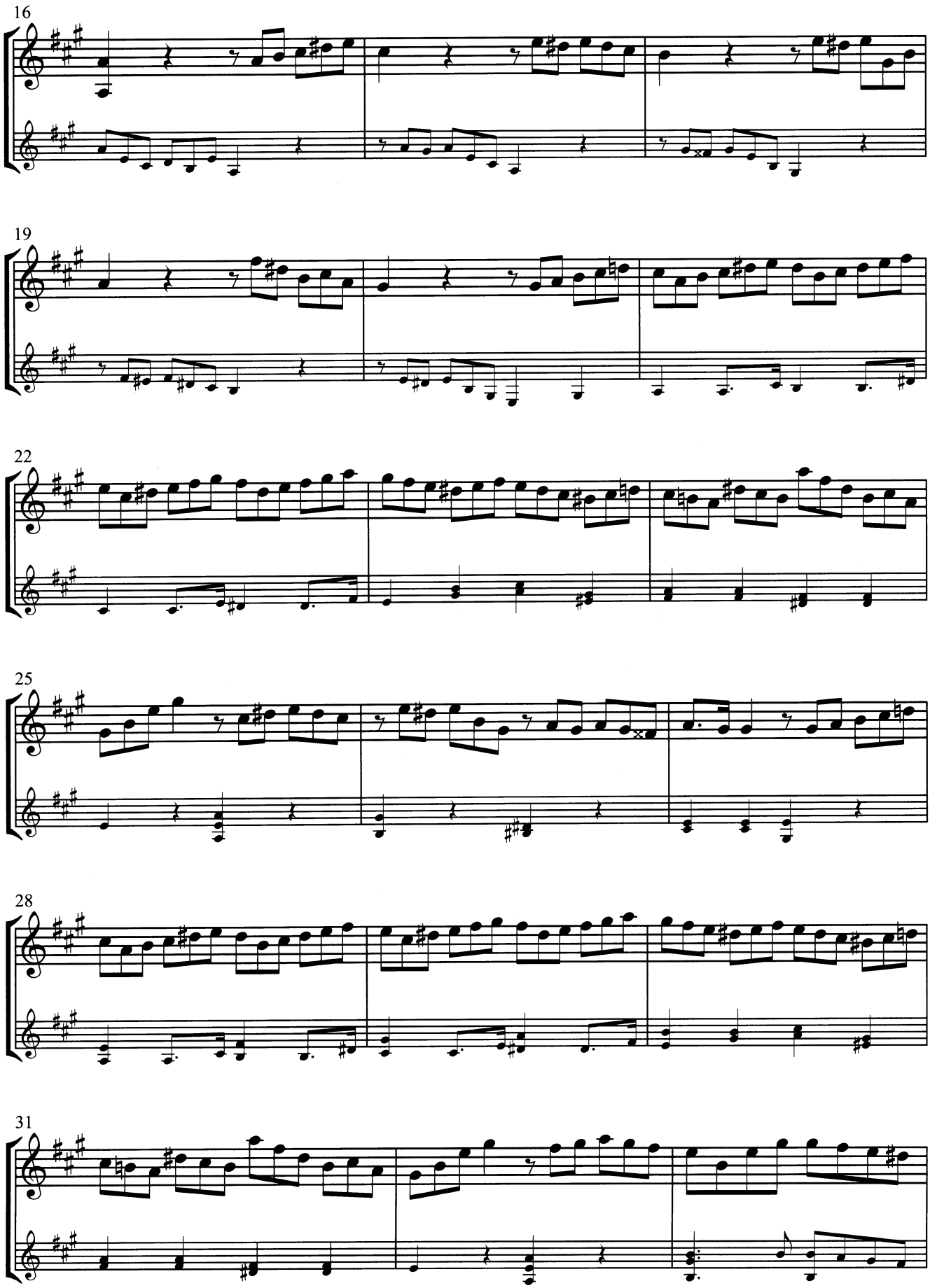
付録CD 13 トラックNo.

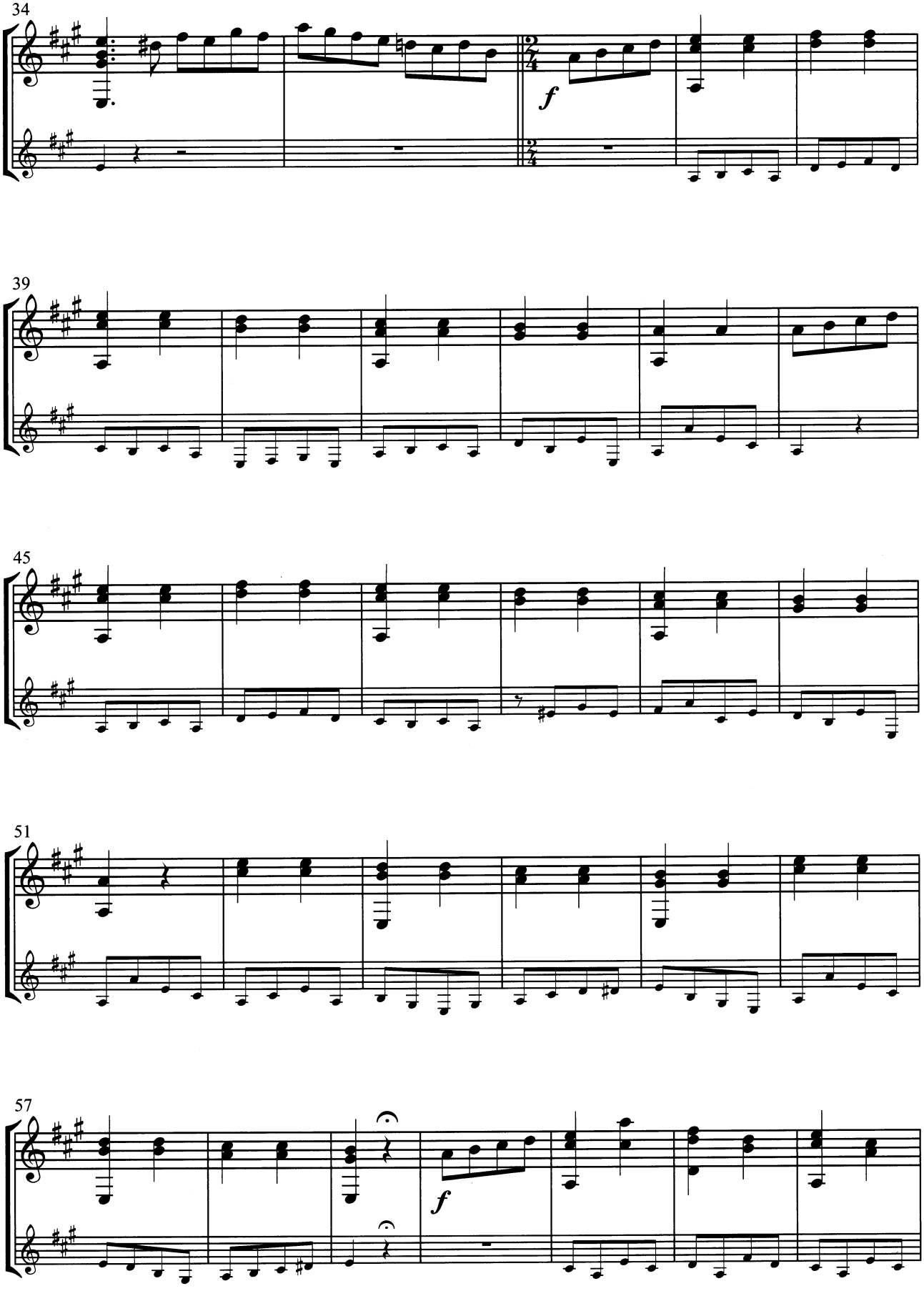
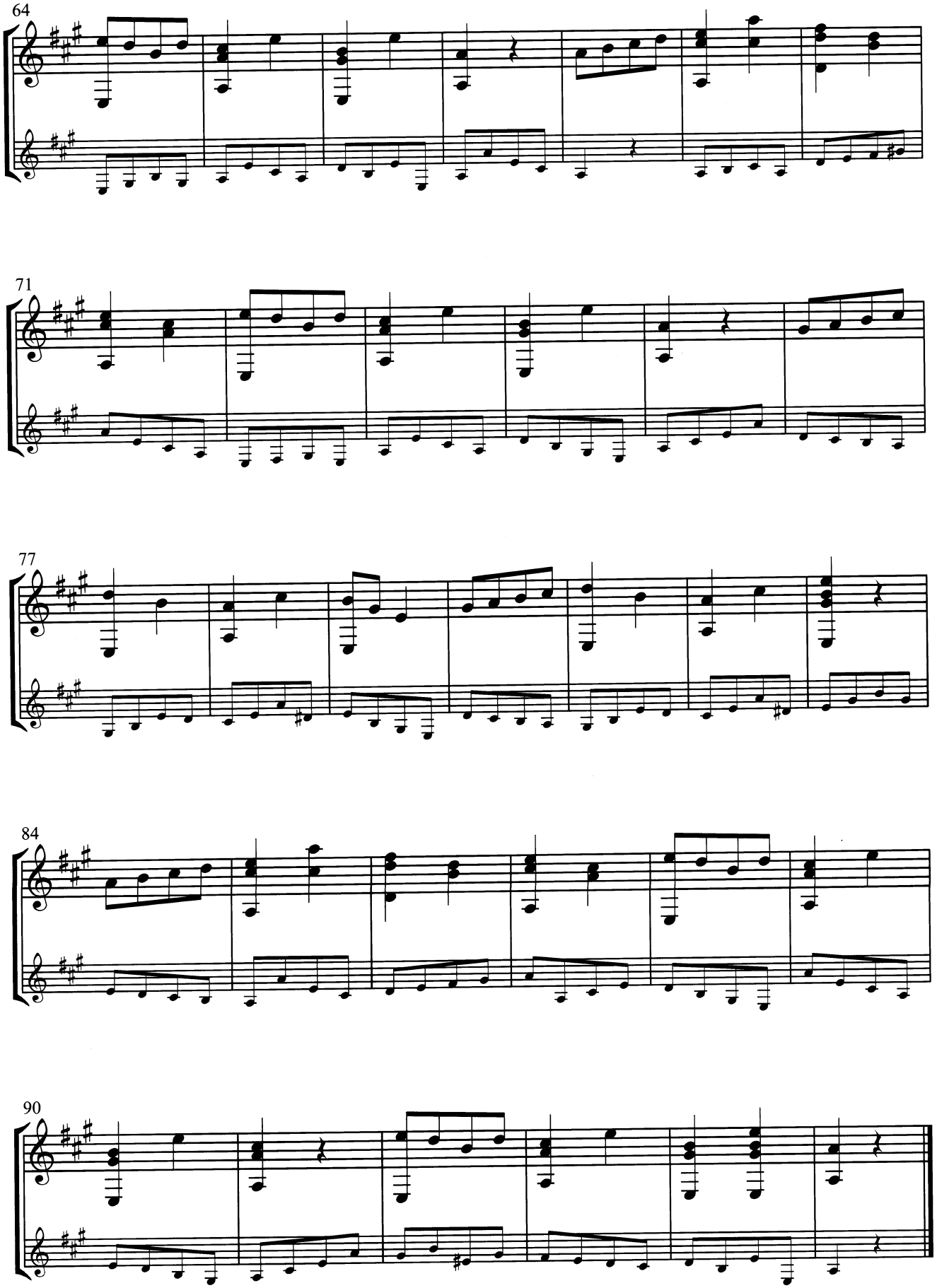
24 Leçons

pour deux guitares

Ferdinand Carulli, op.27

18me. Leçon

Andante

16
19
22
25
28
31

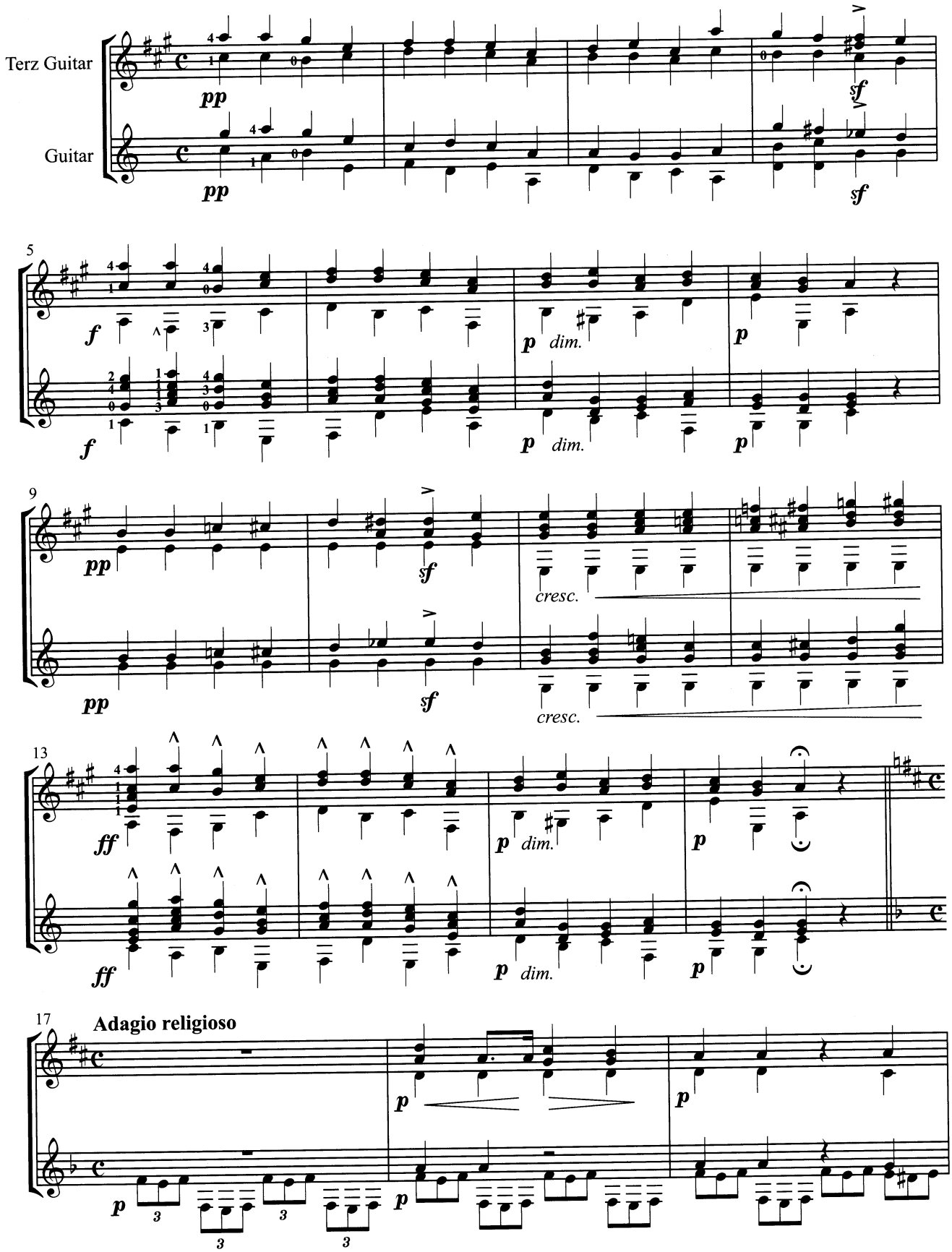
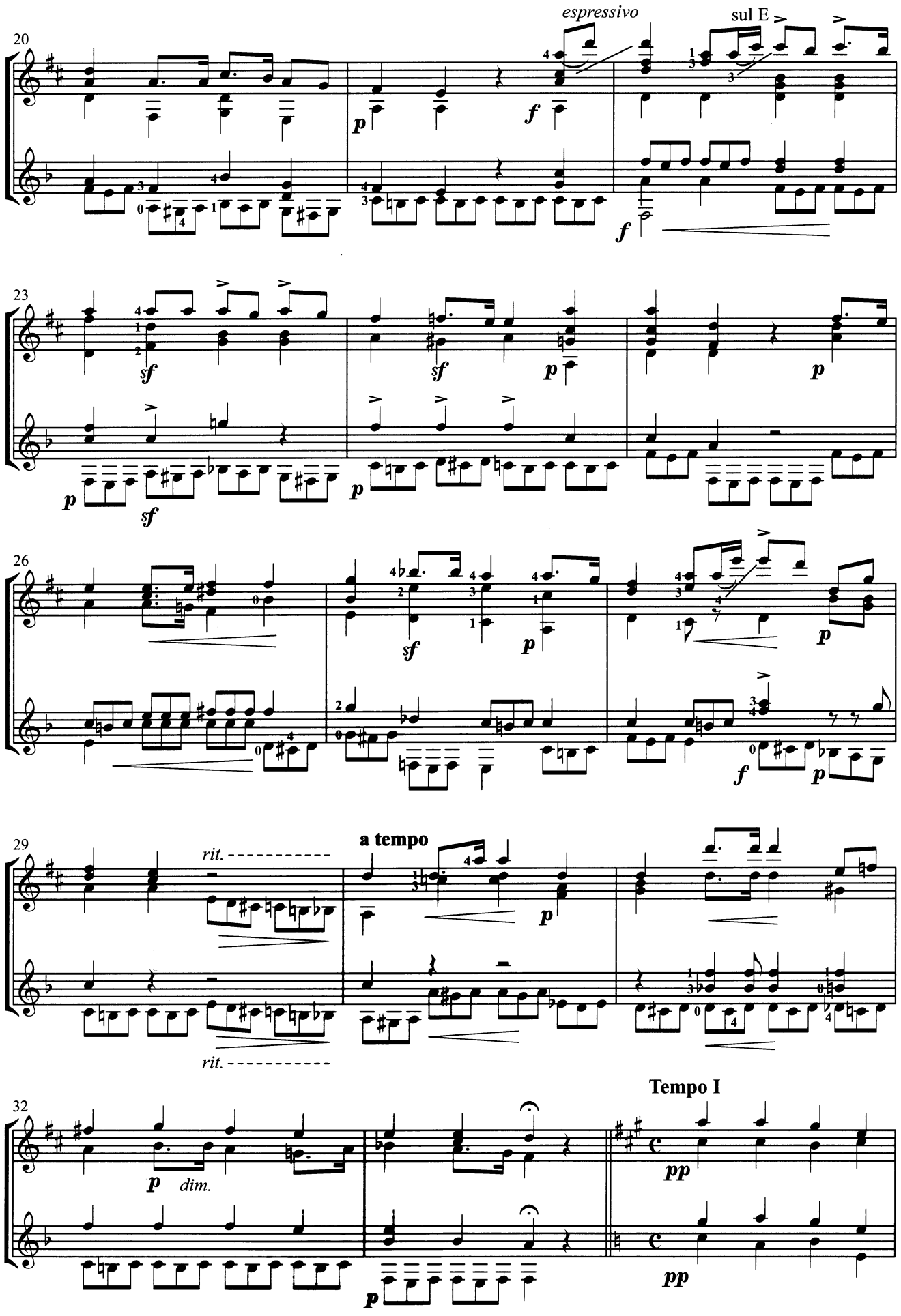
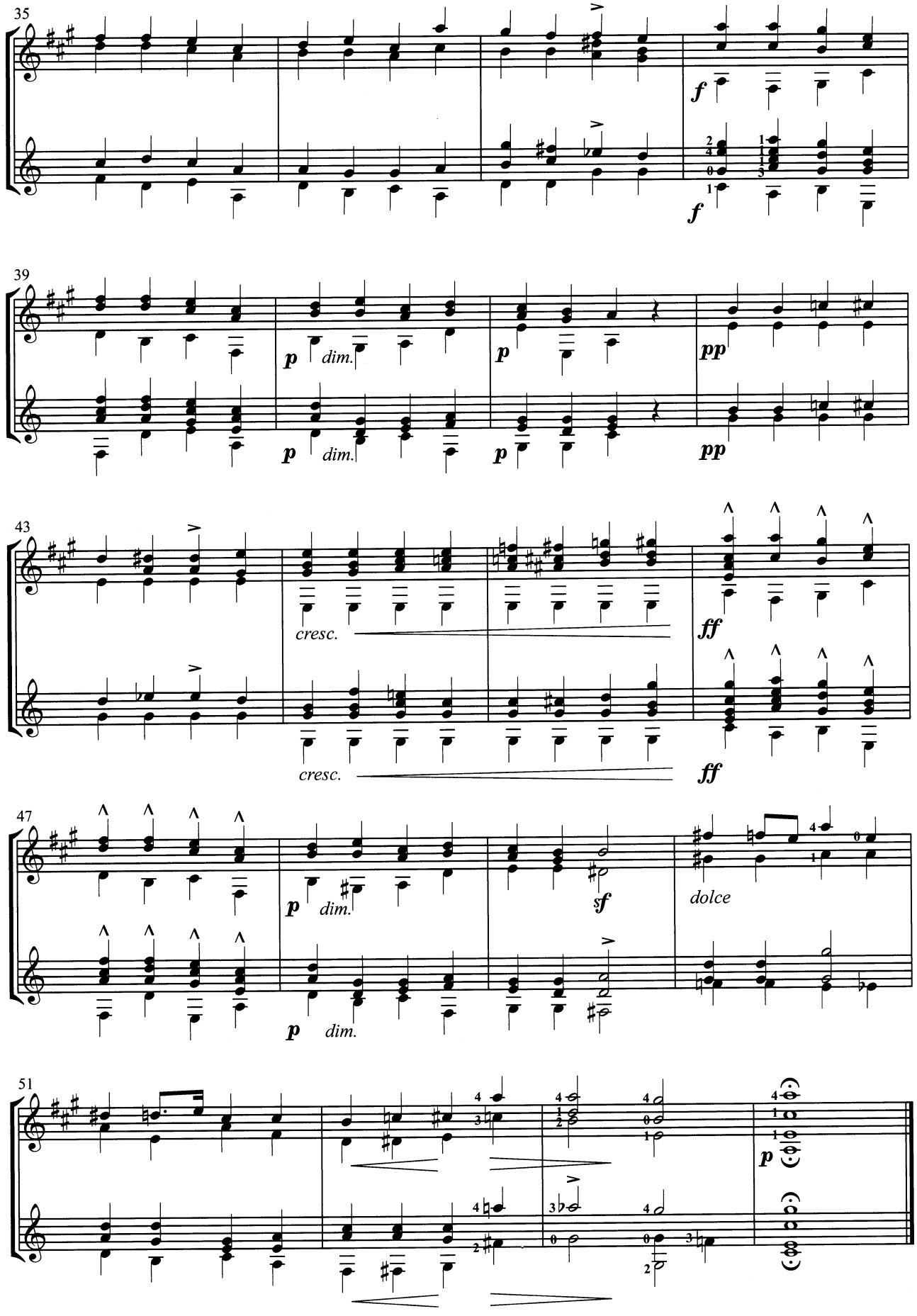

34
f
39
45
51
57
f

64
71
77
84
90

付録CD 14 トラックNo.

Vespergang

夕べの祈り

Joseph Kaspar Mertz
1806-1856

Moderato assai

© Copyright 2009 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.

20
espressivo
sul E
23
26
29
rit.
a tempo
rit.
32
Tempo I
dim.

35
f
f
39
p dim.
p dim.
p
p
pp
pp
43
cresc.
cresc.
ff
ff
47
p dim.
p dim.
sf
dolce
51
p

ISBN 978-4-

付録CD 15 トラックNo.

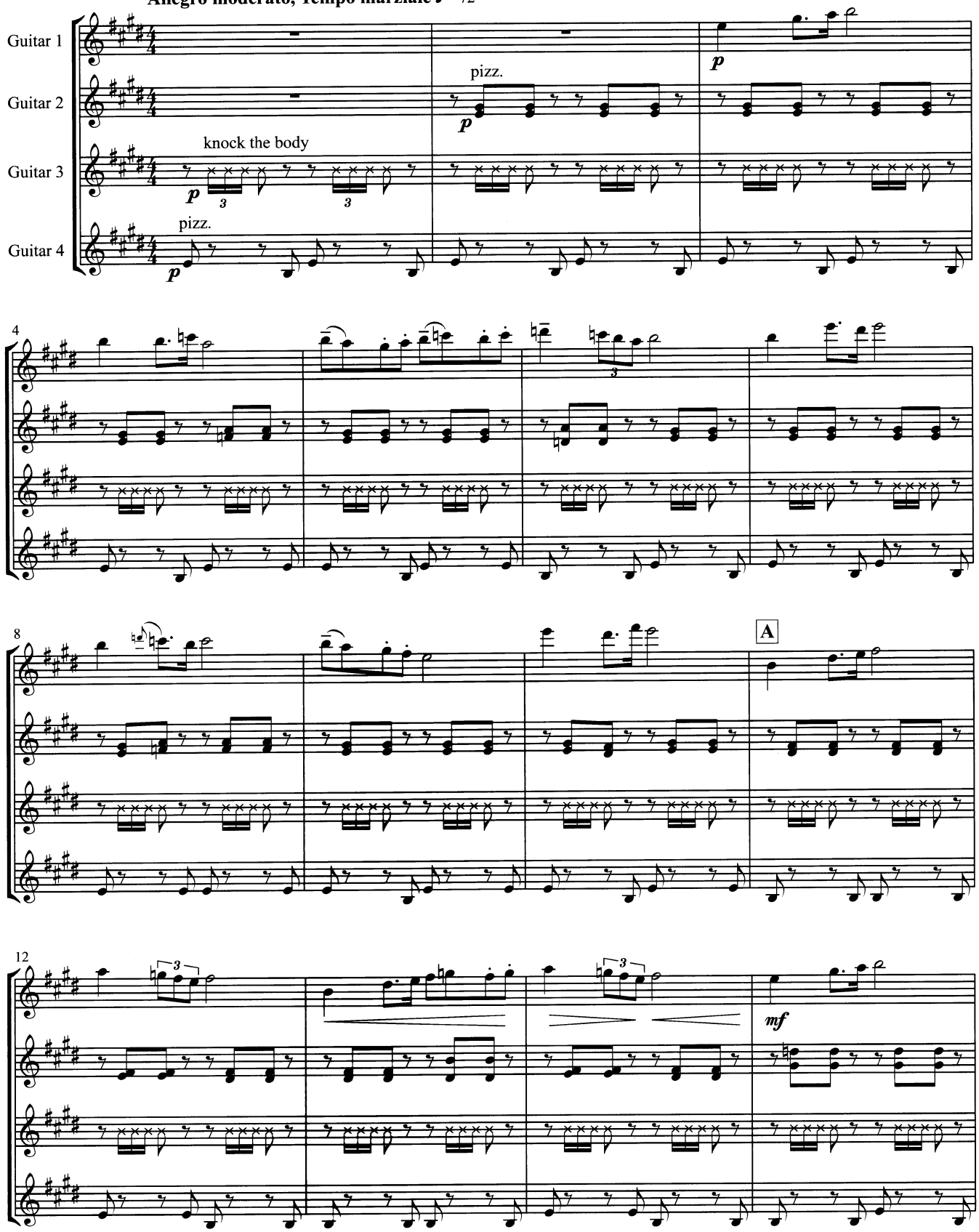
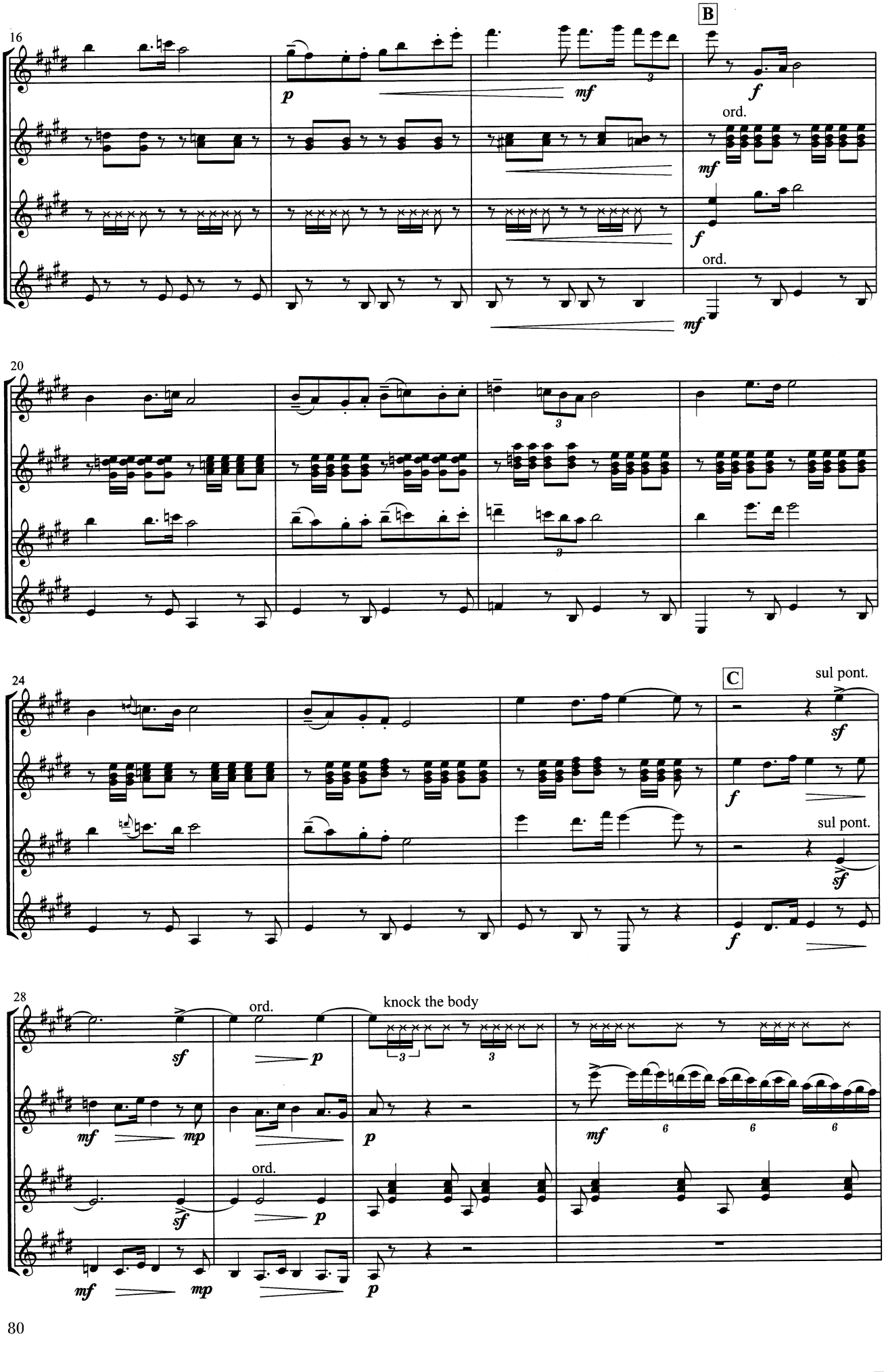
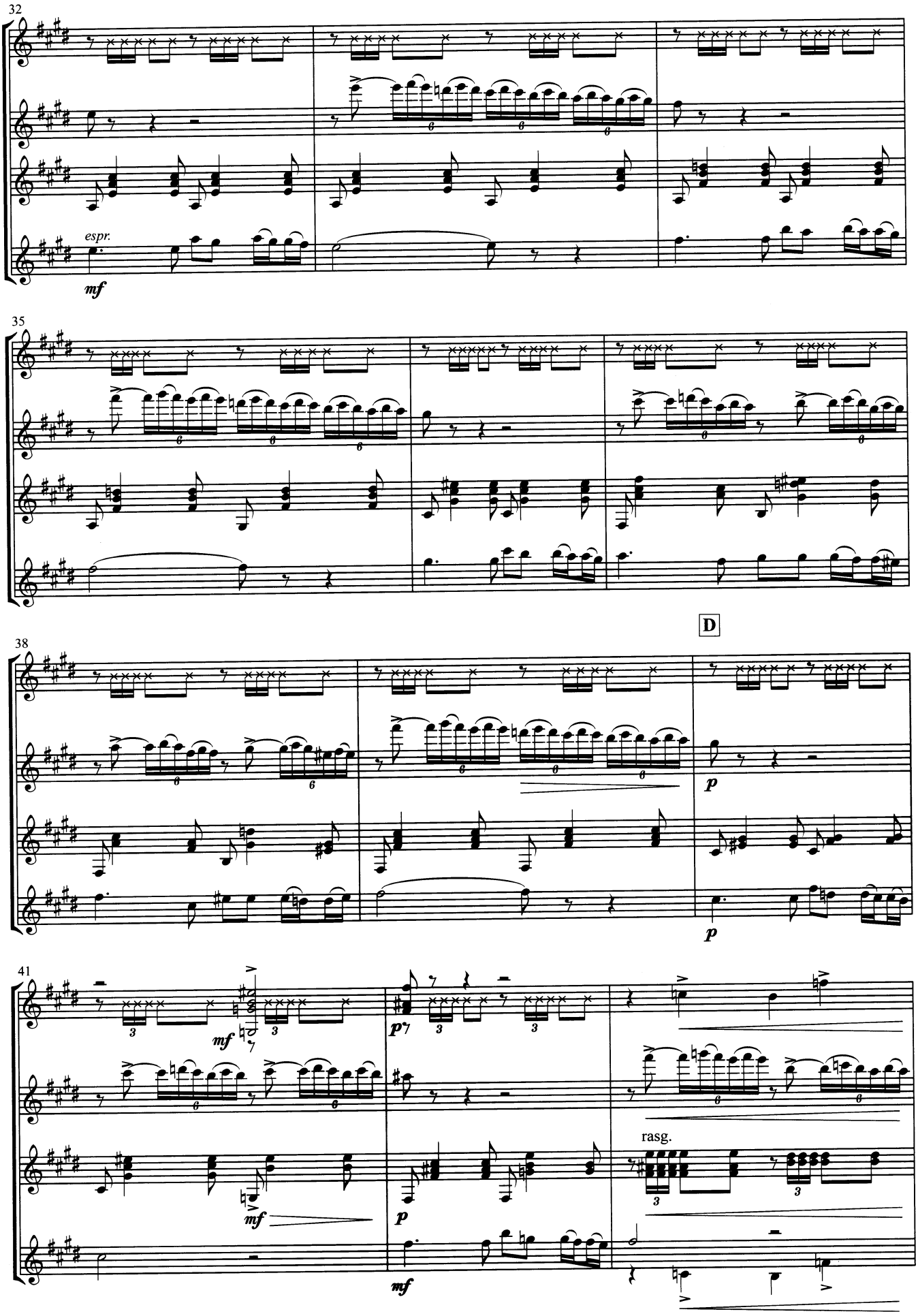
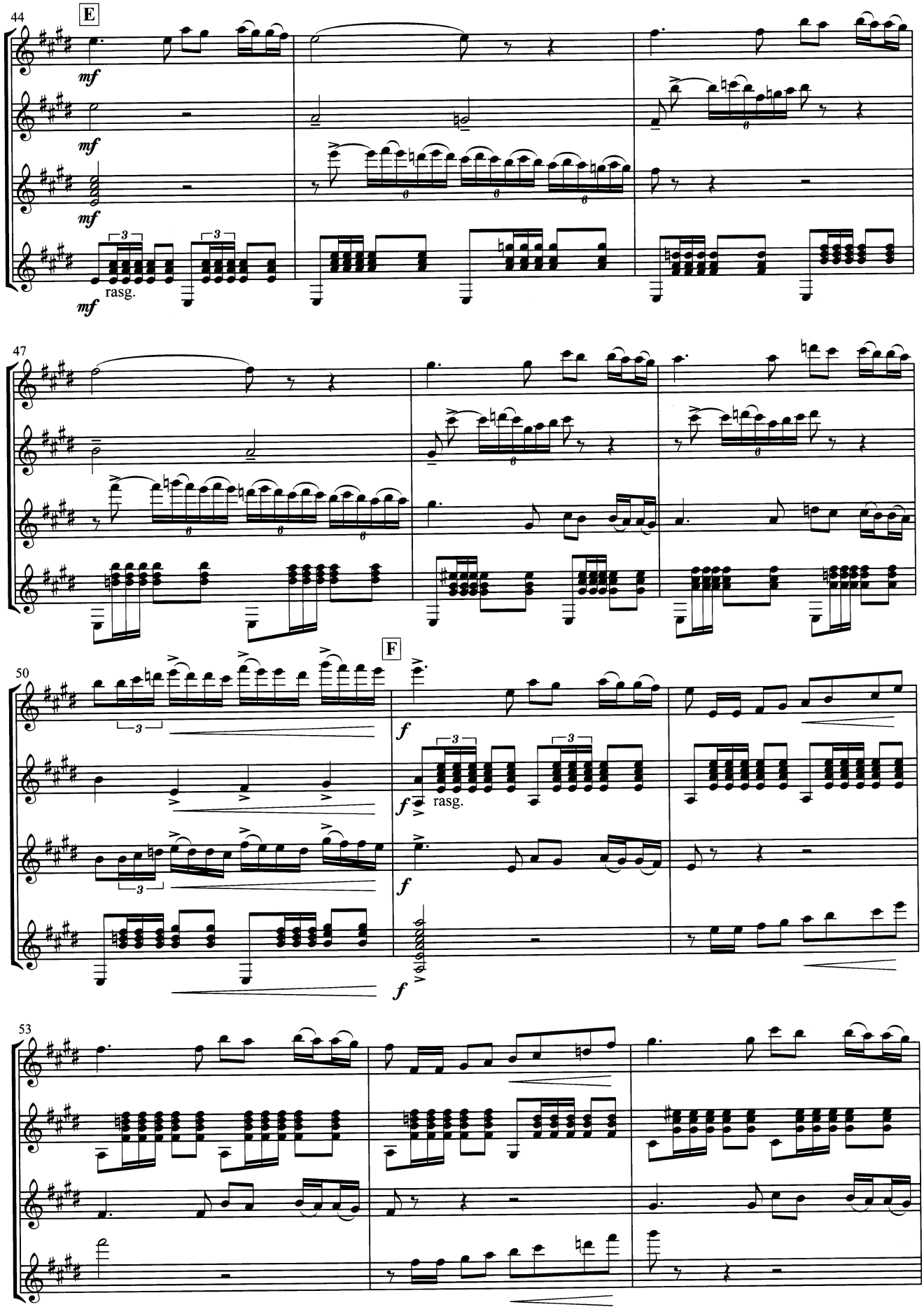
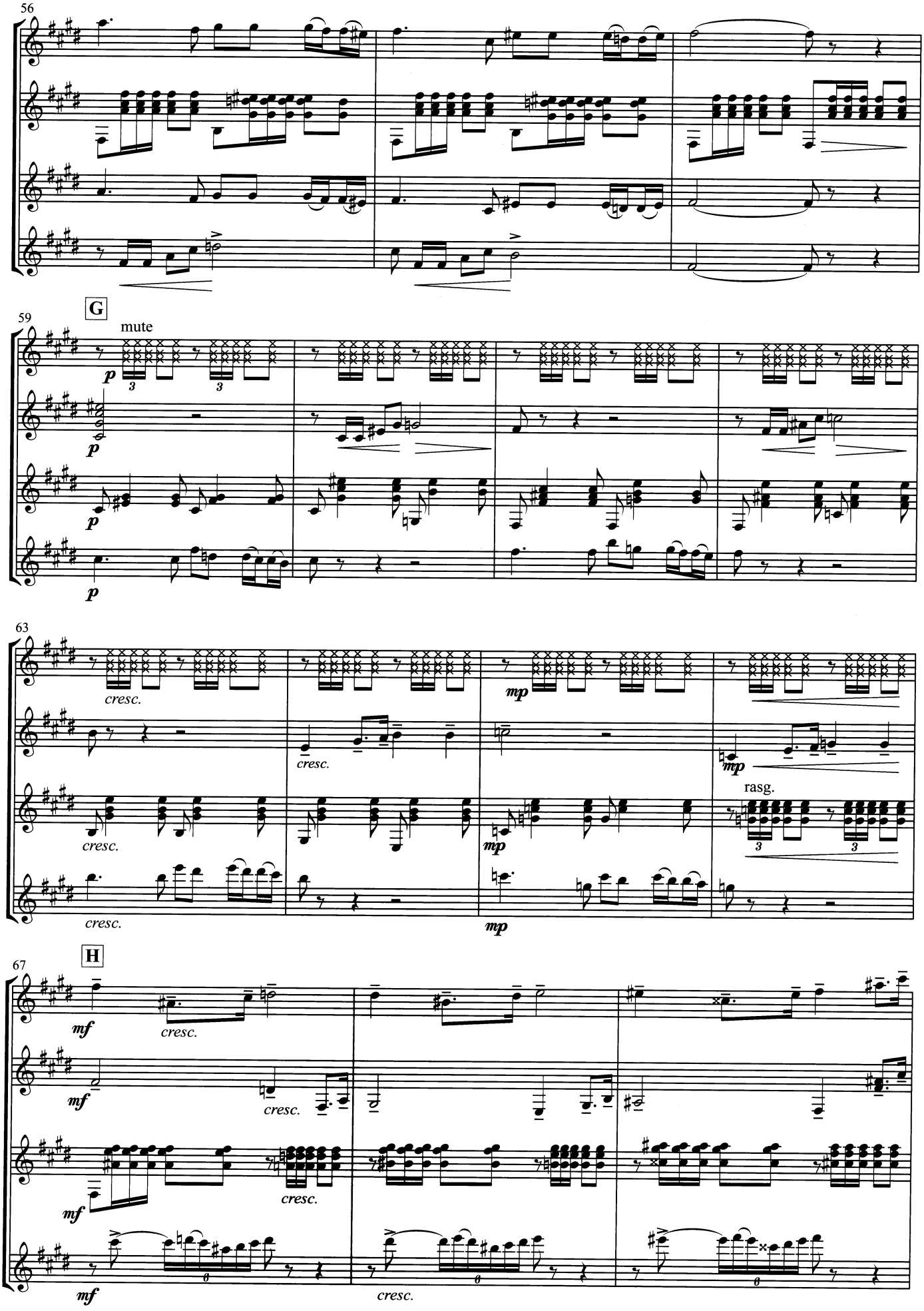
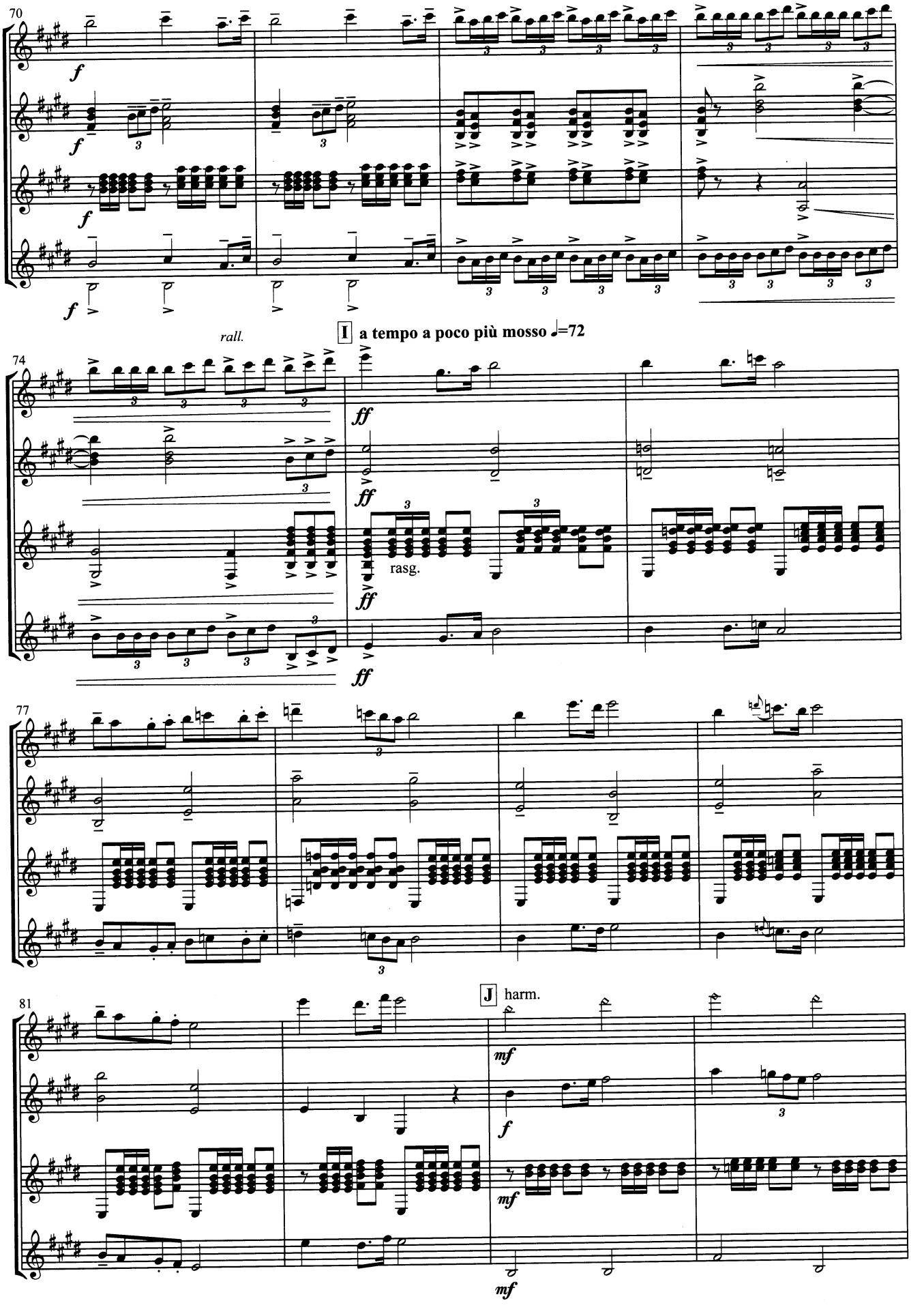
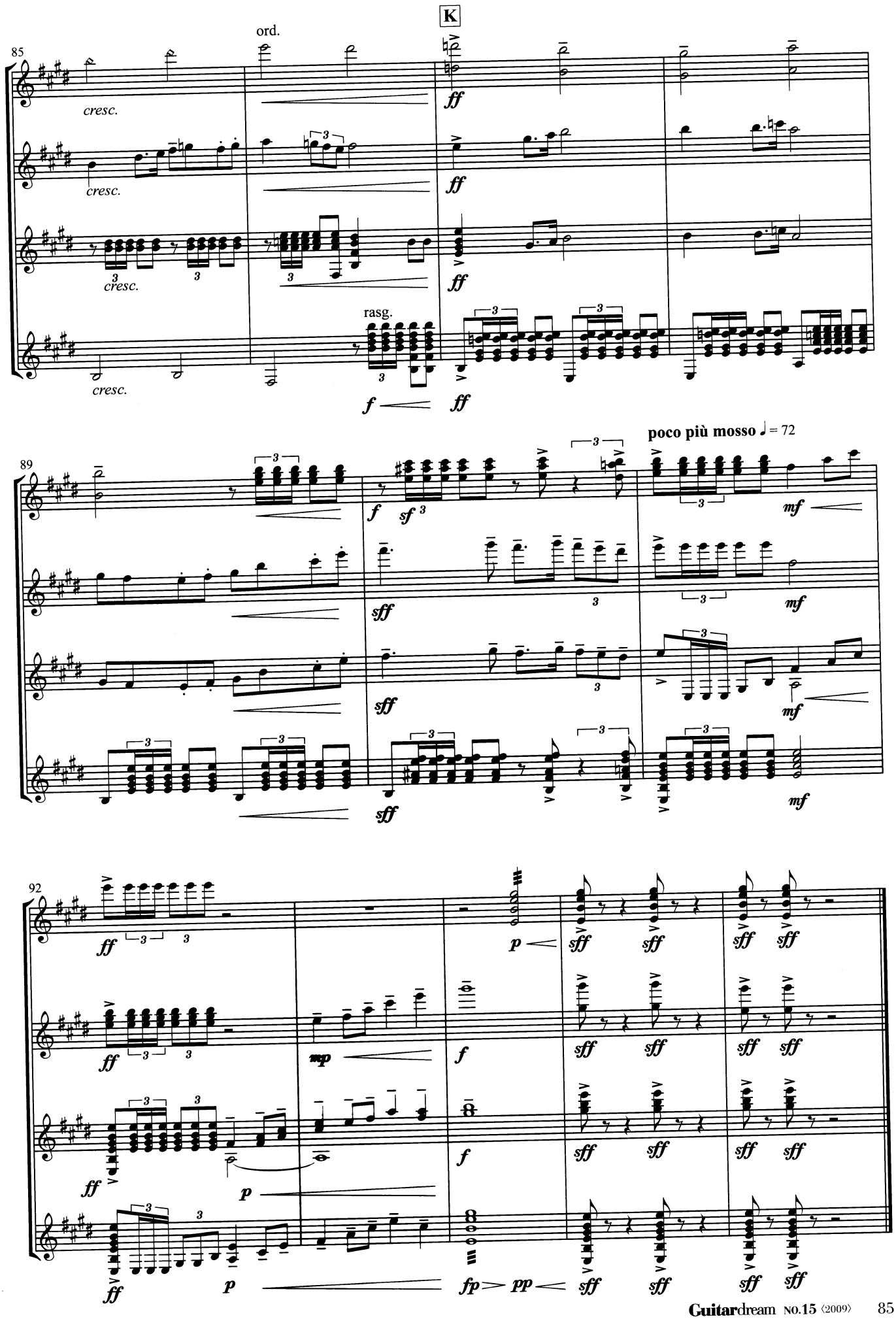
Procession of the Sandar

from Caucasian Sketches op.10

酋長の行列（組曲「コーカサスの風景」より）

Mikhail Ippolitov-Ivanov
1859-1935

Arranged for four guitars by Ippo Tsuboi

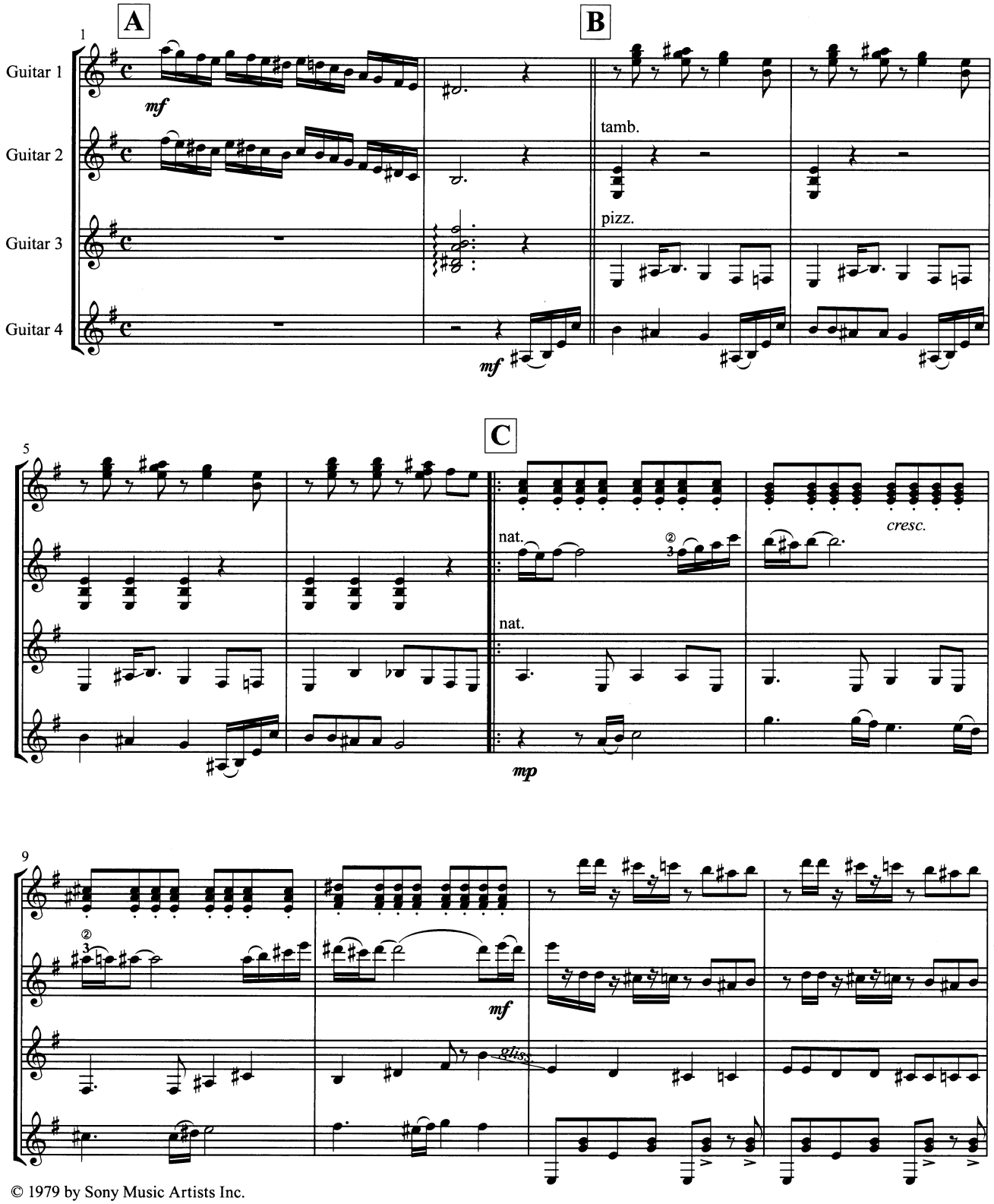
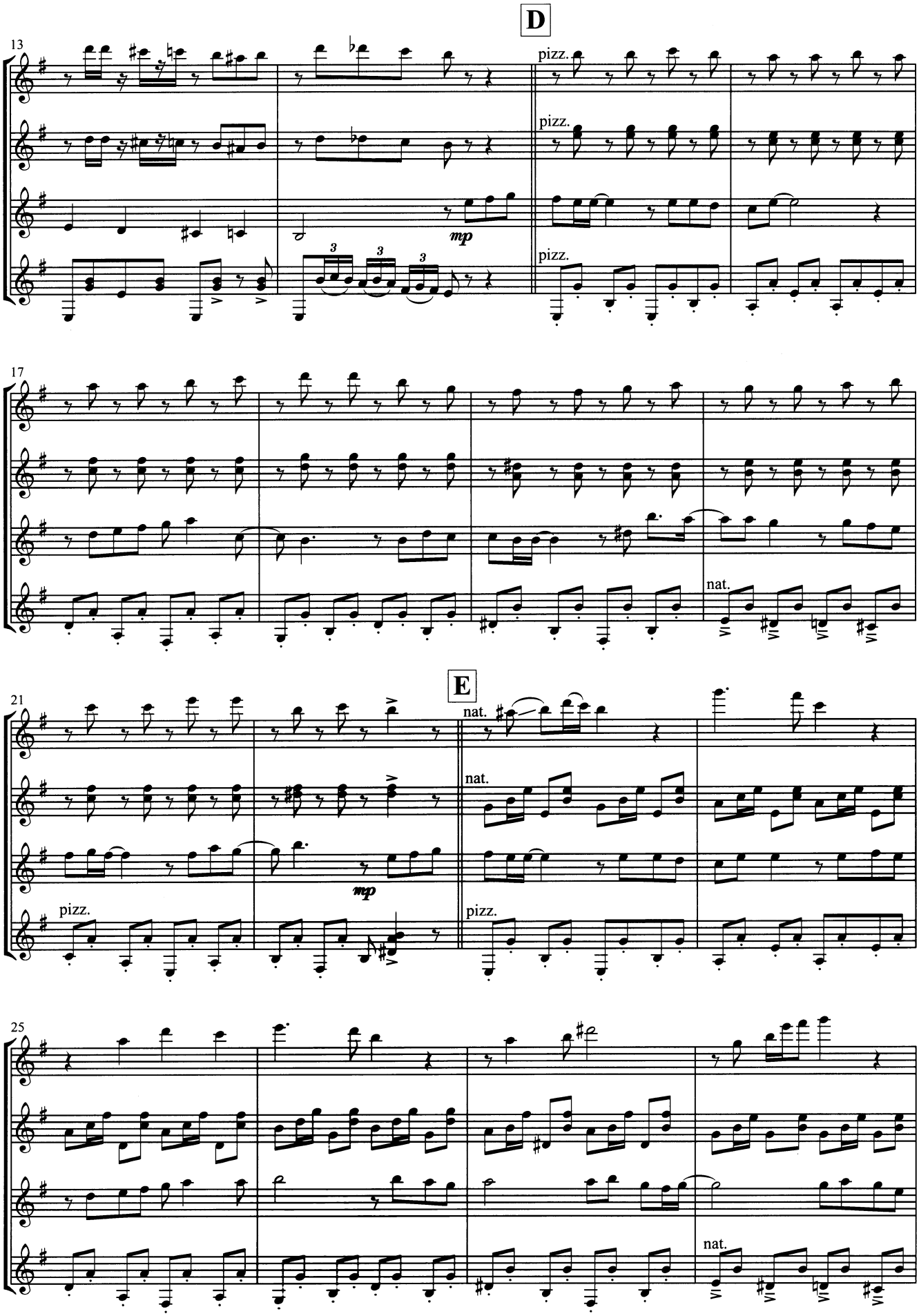
Allegro moderato, Tempo marziale ♩= 72

© Copyright 2009 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.

16
B
p
mf
f
ord.
mf
f
ord.
mf
20
3
3
24
C
sul pont.
sf
f
sul pont.
sf
f
28
ord.
knock the body
sf
p
3
3
mf
mp
p
mf
6
6
6
ord.
sf
p
mf
mp
p

32
espr.
mf
35
D
38
p
p
41
mf
p
mf
p
mf
rasg.

44
E
mf
mf
mf
rasg.
mf
47
50
F
f
f
rasg.
f
f
53

56
G
59
mute
63
cresc.
mp
rasg.
H
67
mf
cresc.

70
f
rall.
I a tempo a poco più mosso ♩=72
74
ff
rasg.
77
81
J harm.
mf

K
ord.
85
cresc.
ff
rasg.
f
poco più mosso ♩= 72
89
mf
sff
92
mp
fp
pp

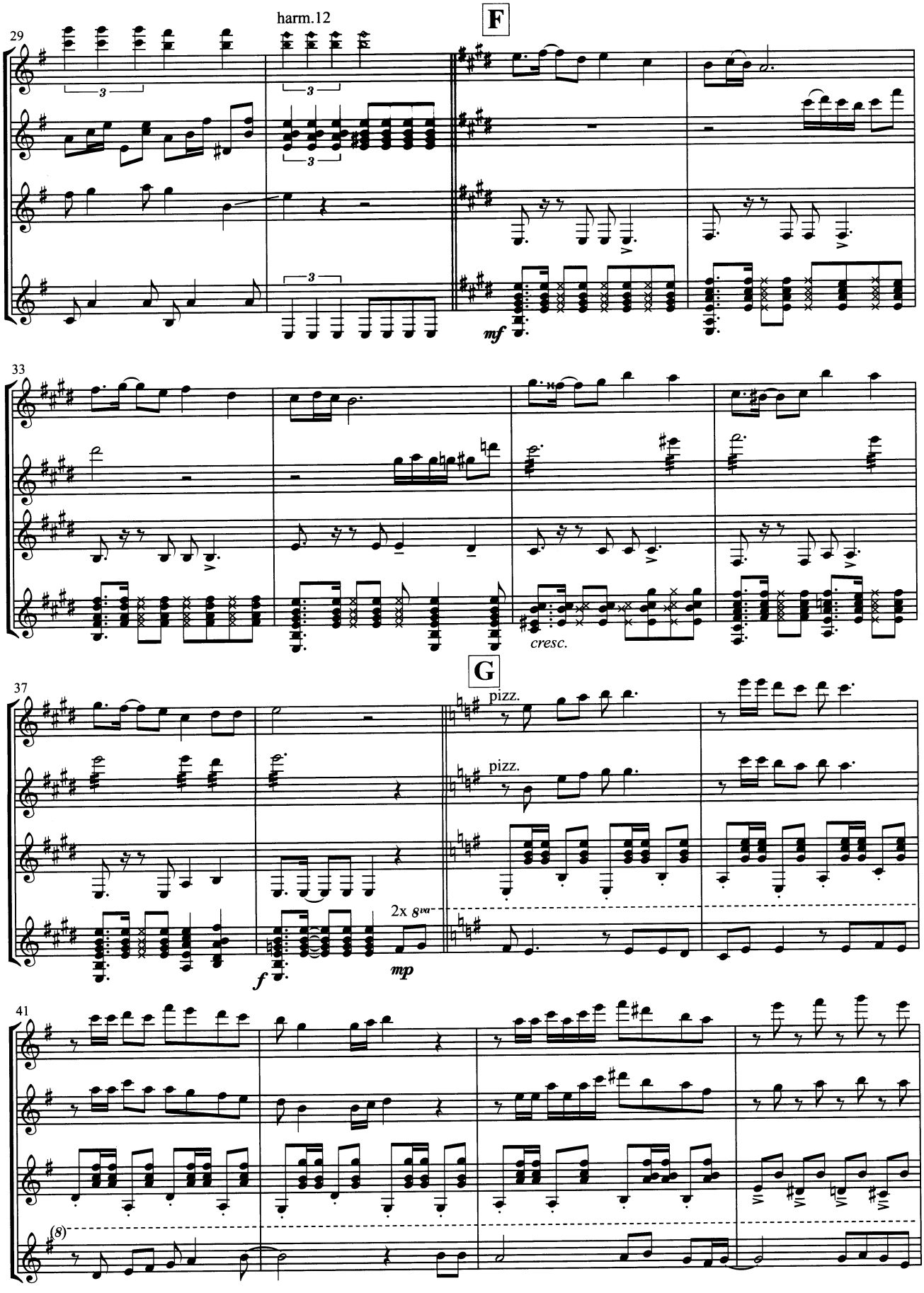
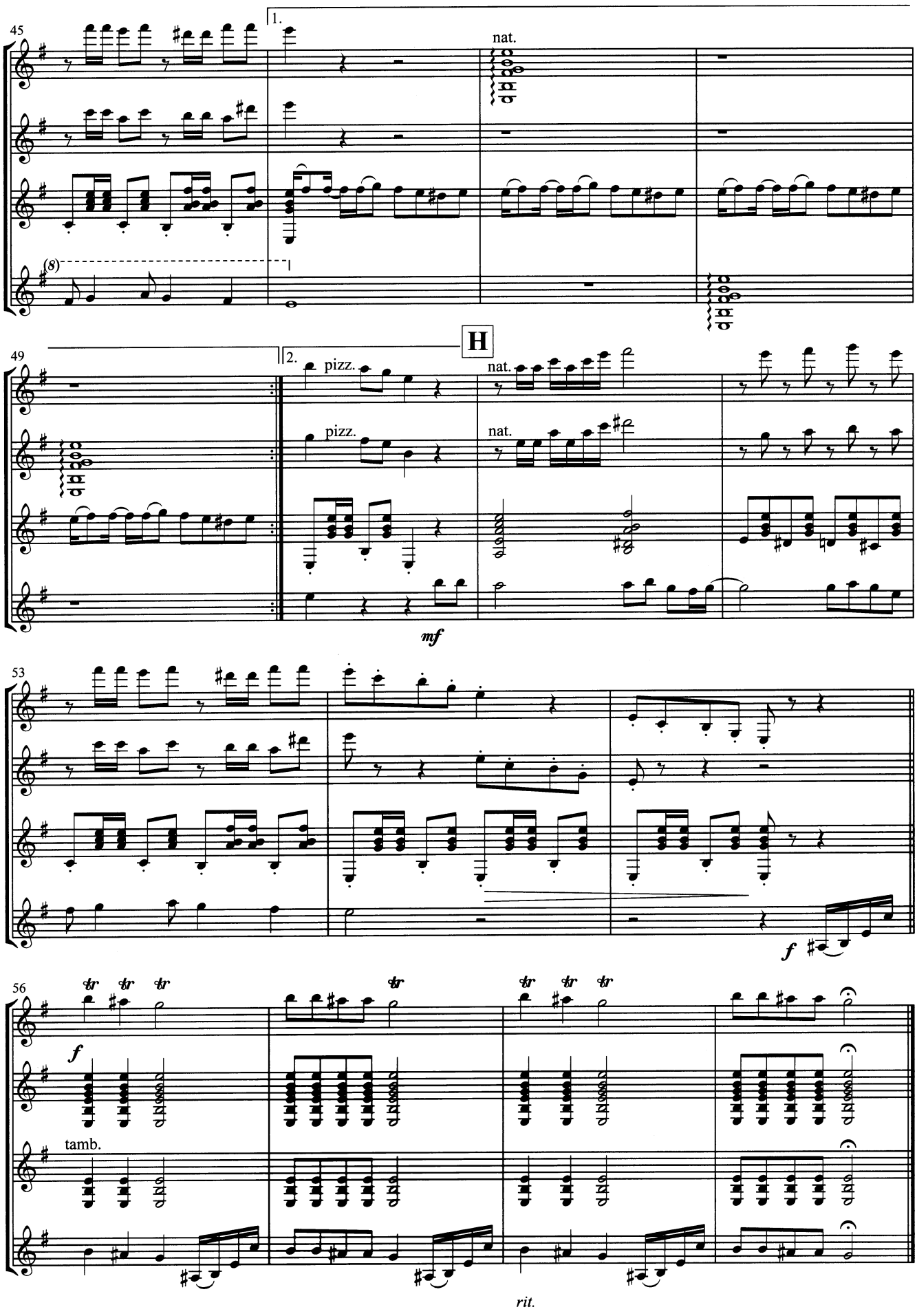
付録CD 16 トラックNo.

L'Étranger

異邦人

Saki Kubota

Arranged for four guitars by Nobuyuki Hirakura

© 1979 by Sony Music Artists Inc.

D
13
pizz.
pizz.
pizz.
mp
3
3
3
17
nat.
E
21
nat.
nat.
pizz.
pizz.
mp
25
nat.


harm.12
F
29
mf
33
cresc.
G
37
pizz.
pizz.
2x 8va
f
mp
41
(8)

45
1.
nat.
(8)
49
H
2.
pizz.
pizz.
nat.
nat.
mf
53
f
56
tr
tr
tr
tr
tr
tr
tr
f
tamb.
rit.